

2025 年度シラバス  
看護学部 3 年次科目

2025 年 4 月 1 日 現在



|     |        |  |        |                                            |
|-----|--------|--|--------|--------------------------------------------|
| 英語Ⅲ | 授業担当教員 |  | 定方 美恵子 |                                            |
|     | 補助担当教員 |  |        |                                            |
|     | 区分     |  | 教養必修科目 |                                            |
|     | 年次・学期  |  | 3年次 前期 | <div> <div>単位数</div> <div>1単位</div> </div> |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ◎Ⅱ、○Ⅲ / A4,7,8、E1、G-2                |       |  |  |

【授業概要】

看護をさらに追及していく上で海外の英文文献を読むことができる基礎的能力は重要である。そのために、医療、特に看護に関する国際コミュニケーション能力の向上のために、医療英語を学び、英語論文が理解できる読解力を習得するために必要な精読力を身に付けさせ、読解力と共に、国際看護の基礎となり得る英語能力を身に付けさせる。

【実務経験】

他大学で「入門医療英語」を1年間担当した経験を持つ。スリランカのペラデニヤ大学学部生を3か月間卒業研究を指導、同大学看護教員（文部科学省国費留学生）を3年半博士論文指導を行った経験を持つ。

【到達目標】

- 1) 医療英語の基礎的用語が理解できる。
- 2) 医療現場で遭遇する英語の専門用語を理解できる。
- 3) 医療現場で必要とされる英会話や情報提供の方法を理解できる。
- 4) 英語論文を読み、内容を理解できる。
- 5) 国際活動に必要な医療英語の基礎を身に付け、異文化看護に関心をもつことができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                   | 授業内容                                                                                                                                       | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                             | 到達目標番号      | 担当教員 |
|----|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------|-------------|------|
| 1  | オリエンテーション<br>医療英語の基礎的用語の理解             | 授業概要の説明。<br>医療の場で用いられる医療英語について学ぶ。                                                                                                          | 講義・演習 | 予習：今まで習った授業でてきた単語を復習し参加する。（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）      | 1）、2）       | 定方   |
| 2  | 実践医療英会話（1）外国人妊婦                        | 医療現場での妊婦からの訴えや要求を会話形式で実践的に修得する。                                                                                                            | 講義    | 予習：妊娠に関する基礎的な専門用語を英語で調べて参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）    | 2）、3）       | 定方   |
| 3  | 実践医療英会話（2）外国人妊婦に対する外来での情報提供            | 病院の産科に関する英語版ホームページ作成や英語でのパンフレット作製の具体的内容を学ぶ。                                                                                                | 講義    | 予習：妊婦検診を説明する基礎的な専門用語を英語で調べて参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2）、3）       | 定方   |
| 4  | 実践医療英会話（3）外国人妊婦の受診・諸制度活用のサポート          | 日本で外国人妊婦が健康診査を受ける際の行政によるサポートを紹介するための会話を実践的に学ぶ。                                                                                             | 講義    | 予習：日本（新潟市でもよい）にある外国人妊婦への制度を調べる（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）  | 2）、3）       | 定方   |
| 5  | 看護の研究に関する英文論文（1－1）を読む                  | 講義で用いる英語論文1を読み、内容（アブストラクト）を解説する。<br>患者の問題（病気、からだ、こころ等）や看護の問題について解説を聞き、研究の概要を理解できる。<br>和訳の分担を決める。                                           | 講義・演習 | 予習：英文論文のアブストラクトを訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）         | 1）、4）       | 定方   |
| 6  | 看護の研究に関する英文論文（1－2）を読む                  | 英語論文1の和訳の分担に基づき、グループで意見交換し、全体に発表し、看護学の研究の内容を理解する。<br>論文中に用いられている研究の意義や興味を感じた点をあげる。                                                         | 講義・演習 | 予習：英文論文の分担部分を訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）            | 1）、4）       | 定方   |
| 7  | 看護の研究に関する英文論文（1－3）を読む                  | 英語論文1の和訳の分担に基づき、グループで意見交換、発表し、看護学の研究の内容を理解する。<br>論文中に用いられている研究の意義や興味を感じた点をあげる。                                                             | 講義・演習 | 予習：英文論文の分担部分を訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）            | 1）、4）       | 定方   |
| 8  | 看護の研究に関する英文論文（2－1）を読む                  | 車いすでの移送に関する英語論文2のアブストラクトを解説する。<br>車いすで移送時の看護技術の問題、研究の疑問、研究の概要を理解できる。<br>和訳の分担を決める。                                                         | 講義    | 予習：英文論文のアブストラクトを訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）         | 1）、2）、4）    | 定方   |
| 9  | 看護の研究に関する英文論文（2－2）を読む                  | 英語論文2の和訳の分担に基づき、グループで意見交換・発表し、看護学の研究の内容を理解する。<br>論文中に用いられている研究の意義や興味を感じた点をあげる。                                                             | 講義    | 予習：英文論文の分担部分を訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）            | 2）、3）       | 定方   |
| 10 | 看護の研究に関する英文論文（2－3）を読む                  | 英語論文2の和訳の分担に基づき、グループで意見交換・発表し、看護学の研究の内容を理解する。<br>論文中に用いられている研究の意義や興味を感じた点をあげる。                                                             | 講義    | 予習：英文論文の分担部分を訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）            | 2）、3）       | 定方   |
| 11 | 看護の研究に関する英文論文（3－1）を読む<br>異文化看護を理解する（1） | 妊婦の栄養摂取に関する英語論文を読み、内容を理解できるように学修する。論文中に取り上げられた、スリランカの医療、妊婦管理システムを紹介し異文化の中での看護やその課題を理解できる。<br>英語論文の構成、読み方を解説し、全員共通の英語論文を提示し、分担を決めて、和訳してもらう。 | 講義    | 予習：英文論文のアブストラクトを訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）         | 2）、3）       | 定方   |
| 12 | 看護の研究に関する英文論文（3－2）を読む<br>異文化看護を理解する（2） | 妊婦の栄養摂取に関する英語論文を読み、方法と結果の内容を理解できるように学修する。論文中に取り上げられた、スリランカの医療、妊婦管理システムを紹介し異文化の中での看護やその課題を理解できる。                                            | 講義    | 予習：英文論文の分担部分を訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）            | 2）、3）       | 定方   |
| 13 | 看護の研究に関する英文論文（3－2）を読む<br>異文化看護を理解する（3） | 妊婦の栄養摂取に関する英語論文を読み、結果からどのような考察が述べられているか、理解できるように学修する。論文中に取り上げられた、スリランカの医療、妊婦管理システムを紹介し異文化の中での看護や発展途上国の抱える課題を理解できる。                         | 講義    | 予習：英文論文の分担部分を訳して参加する（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）            | 2）、3）       | 定方   |
| 14 | 英語で行われる発表を聞く                           | 英語で行われる講義を視聴し、内容の理解度を問うことで、英語の読解力を試すとともに国際活動・異文化看護への関心をもつことができるよう学修する。                                                                     | 講義    | 予習：今まで調べた英単語と、事前に提示する単語を調べておく（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分）   | 1）、2）、5）    | 定方   |
| 15 | まとめ                                    | 担当した英語論文の部分の和訳を改めて修正し、レポートを作成してもらう。                                                                                                        | 講義    | 予習：担当した和訳を改めてまとめ直して臨む（60分）<br>復習：レポート作成（60分）             | 1）、2）、3）、4） | 定方   |

【教科書・参考書】

| 種別 | 書名 | 著者・編者 | 出版社 |
|----|----|-------|-----|
|----|----|-------|-----|

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      | 40%  |            |      |        | 60%  |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

レポートは試験前に返却する。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）             | Eメールアドレス              |
|--------|----------------|-----------------------|-----------------------|
| 定方 美恵子 | 月・金 12時30分～13時 | 西新潟中央病院キャンパス（108学部長室） | sadakata@nupals.ac.jp |

【その他】

各授業は教科書及び配布プリントで行う。

【成績評価基準】 レポートの合計100点満点のうち60点以上を合格とする。

|    |        |  |             |         |
|----|--------|--|-------------|---------|
| 疫学 | 授業担当教員 |  | 中村 和利・北村 香織 |         |
|    | 補助担当教員 |  |             |         |
|    | 区分     |  | 専門基礎必修科目    |         |
|    | 年次・学期  |  | 3年次 前期      | 単位数 2単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              |                                      |       |  |  |

【授業概要】

人間集団の中でおこる健康に関係する現象の頻度や分布を把握し、疾病予防と健康増進に関する疫学の基本的な知識、考え方について学ぶ。

【実務経験】

疫学教育の経験は34年（中村）と10年（北村）である。

【到達目標】

- 1.疫学 の概念とその必要性を理解する。疫学の方法論を学び、疫学指標や科学的根拠を活かす意義を理解する。
- 2.疫学が疾病予防や健康増進活動にどのように寄与しているかを理解する。
- 3.集団の健康状態について疫学的データをを用いて分析し、解釈できる。
- 4.公衆衛生看護活動や医療を疫学的視点から評価することができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                                  | 授業内容                                                                                                   | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                 | 到達目標番号 | 担当教員 |
|----|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------|--------|------|
| 1  | 疫学序論                                  | 疫学 の概念、疫学研究の歴史、看護学における疫学 の意義についてお話しします。疾病予防の基本である、一次、二次、三次予防について講義します。                                 | 講義   | 予習：講義内容の復習（60分）                                                              | 1      | 北村   |
| 2  | 病気の予防と病因論の基本概念                        | 病気の予防を考える際、原因別に病気を整理するのが基本です。どうすれば病気を予防できるかを考えます。国際疾病分類についても講義します。さらに曝露Exposureと疾病発生Outcomeについても講義します。 | 講義   | 予習：頻度の多い病気についておさらいしておいてください<br>復習：講義内容の復習（30分）                               | 2      | 北村   |
| 3  | 疫学指標とその標準化                            | 病気の発生頻度（罹患率、有病率）など、病気を量的に把握する方法を見ていきます。病気の罹患率は母集団のサイズなどの要因に左右されます。そこで、病気の罹患率を標準化する方法を講義します。            | 講義   | 予習：率、割合、相対頻度など、数学の基本をおさらいしておいてください。適宜、保健統計学の教科書を参照する（60分）<br>復習：講義内容の確認（30分） | 3      | 北村   |
| 4  | 疫学研究のデザイン、記述疫学研究                      | 疫学研究のデザインは、エビデンスのレベルを決定します。どのようなデザインがあるのか、と各デザインの特徴について講義します。また、その中の記述疫学研究についても講義します。                  | 講義   | 予習：第3回の疫学指標につい復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                            | 3      | 北村   |
| 5  | 分析疫学研究：コホート研究・症例-対照研究                 | 分析疫学研究は曝露と疾病発生の関連性に関するエビデンスを提供します。観察疫学研究の中で重要なコホート研究と症例-対照研究について講義します。                                 | 講義   | 予習：第3回の疫学指標につい復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                            | 3      | 北村   |
| 6  | 因果関係の判定、バイアス、交絡要因                     | 疫学研究から曝露と疾病発生の因果関係を判定する場合、それに影響を与えるバイアスと交絡要因について考察する必要があります。これらは疫学 の重要な概念ですので時間をかけて講義します。              | 講義   | 予習：第5回のコホート研究、症例-対照研究を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                    | 3      | 中村   |
| 7  | 介入研究、臨床疫学とEBN（Evidence-based Nursing） | 介入研究は最も信頼性の高いデザインです。介入研究を頂点としたエビデンスのレベルと、エビデンスに基づいた看護学とは何かについて講義します。                                   | 講義   | 予習：既習の研究デザインの基本と因果関係判定について復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                | 3      | 中村   |
| 8  | 疾病登録                                  | 疾病登録を用いることで、病気の有病率、罹患率を得ることができますし、コホート研究を行うこともできます。疾病登録の意義と目的、関連事項を講義します。                              | 講義   | 予習：既習のコホート研究を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                             | 3      | 北村   |
| 9  | 主な疾患の疫学                               | 主要な疾患（がん、循環器疾患、脳血管疾患、糖尿病など）、その他の重要疾患・生活習慣の疫学的特徴を講義します。                                                 | 講義   | 予習：既習の記述疫学研究を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                             | 3      | 中村   |
| 10 | 疫学研究の実際                               | 疫学データ見方や解釈を学ぶことが最も重要ですが、疫学研究を行わなければ、エビデンスを得られません。疫学研究の実際を講義の中で紹介します。                                   | 講義   | 予習：既習の記述疫学研究と分析疫学研究の基本を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                   | 3      | 中村   |
| 11 | スクリーニングテスト                            | スクリーニングは病気の二次予防に重要な概念です。スクリーニングテストの良し悪しや、精度について講義します。                                                  | 講義   | 予習：既習の疾病予防の基本を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                            | 3      | 中村   |
| 12 | 遺伝と環境の相互作用、社会疫学                       | 一般に病気の原因は遺伝要因と環境要因の両方に関係しています。病気と環境の相互作用という概念について講義します。また、また、最近注目されている社会疫学についても触れます。                   | 講義   | 予習：既習の記述疫学研究と分析疫学研究の基本を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                   | 3      | 中村   |
| 13 | 疫学演習①                                 | 疫学に関する理解を深めるため、演習を行います。国家試験対策を兼ねます。                                                                    | 演習   | 予習：既習の記述疫学研究と分析疫学研究の基本を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                   | 4      | 中村   |
| 14 | 疫学演習②                                 | 疫学に関する理解を深めるため、演習を行います。国家試験対策を兼ねます。                                                                    | 演習   | 予習：既習の記述疫学研究と分析疫学研究の基本を復習しておいてください（30分）<br>復習：講義内容の確認（30分）                   | 4      | 中村   |
| 15 | まとめ                                   | これまで学んできた疫学 の知識を有機的に結合させます。                                                                            | 講義   | 予習：これまでの内容を復習しておいてください（60分）<br>復習：講義内容の確認（60分）                               | 4      | 中村   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                | 著者・編者   | 出版社   |
|-----|-------------------|---------|-------|
| 教科書 | 基本からわかる看護疫学入門第3版  | 大木秀一    | 医歯薬出版 |
| 参考書 | はじめて学ぶやさしい疫学 改訂4版 | 日本疫学会   | 南江堂   |
| 参考書 | シンブル衛生公衆衛生学2025   | 辻一郎、小山羊 | 南江堂   |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）          | Eメールアドレス |
|-------|---------|--------------------|----------|
| 中村 和利 | 授業終了後   | 西新潟中央病院キャンパス（講師控室） |          |
| 北村 香織 | 授業終了後   | 西新潟中央病院キャンパス（講師控室） |          |

|           |  |        |  |          |         |
|-----------|--|--------|--|----------|---------|
| 保健医療福祉行政論 |  | 授業担当教員 |  | 齋藤 智子    |         |
|           |  | 補助担当教員 |  |          |         |
|           |  | 区分     |  | 専門基礎選択科目 |         |
|           |  | 年次・学期  |  | 3年次 前期   | 単位数 2単位 |

|              |                                      |       |  |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |  |
|              | ○III、IV、V／B2、D1、E2                   |       |  |  |  |

【授業概要】

法律や制度は、人々が年月をかけて創りあげてきた、よりよい社会を形成するための社会の仕組みである。さまざまな領域で働く保健師の役割として、直接的な保健指導や対象集団への組織的活動に加えて、健康に関する政策や施策を企画立案し、関係機関や関係者との連携・調整が求められている。本科目では、保健医療福祉行政と財政の理念としくみや、地方公共団体の保健医療福祉行政施策の計画策定、実行、評価のサイクルについて、さらに公衆衛生行政の各分野における保健師の役割、地域での活動方法について学修する。

【実務経験】

行政保健師、地方自治体職員の実務経験を通して得た知識、技術、態度等を活用し授業を展開する。

【到達目標】

- 1) 保健医療福祉行政の法的基盤、目標と理念について理解し、説明できる。
- 2) 保健医療福祉行政のしくみ、財政について理解し、説明できる。
- 3) 社会保障制度の理念と仕組みを理解し、保健医療福祉行政との関係性について説明できる。
- 4) 医療提供体制について理解し、説明できる。
- 5) 介護保険制度、地域包括ケアシステムについて理解し、説明できる。
- 6) 公衆衛生のしくみ、地域保健の体系、地域保健に関わる職種について理解し、説明できる。
- 7) 保健医療福祉の動向と対策について理解し、説明できる。
- 8) 保健医療福祉計画の策定プロセスについて理解し、説明できる。
- 9) 公衆衛生に関する国内外との連携、国際的な協力について理解し、説明できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                     | 授業内容                                                                                            | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号 | 担当教員 |
|----|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------|--------|------|
| 1  | 保健医療福祉行政の法的基盤と目標         | 保健医療福祉行政の法的基盤、保健医療福祉行政の目標と理念について講義する。                                                           | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1)     | 齋藤   |
| 2  | 保健医療福祉行政のしくみと機能          | 社会保障と税の一体改革、保健医療福祉に関わる関係機関、地方自治・地方分権について講義する。                                                   | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 齋藤   |
| 3  | 保健医療福祉財政のしくみ             | 国の財政のしくみ、地方財政のしくみ、国と地方公共団体の関係について講義する。                                                          | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 齋藤   |
| 4  | 社会保障制度の理念と体系             | 社会保障制度の理念、社会保障制度の体系、社会保障制度改革、自助/互助/共助/公助、社会保障給付の現状、社会保険制度について講義する。                              | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 3)     | 齋藤   |
| 5  | 医療提供体制                   | 医療法、医療計画、医療安全対策、地域連携クリニカルパス、訪問看護制度について講義する。                                                     | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 4)     | 齋藤   |
| 6  | 介護保険制度と医療と介護の包括的な連携      | 介護保険制度、医療と介護の包括的な連携、地域包括ケアシステムについて講義する。                                                         | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 5)     | 齋藤   |
| 7  | 公衆衛生行政のしくみと機能            | 公衆衛生行政の分野、国の公衆衛生行政機構、都道府県の公衆衛生行政機構について講義する。                                                     | 講義    | 予習：テキストの予習<br>復習：授業ノートの復習           | 6)     | 齋藤   |
| 8  | 地域保健の体系と機能               | 地域保健の体系、地域保健法、保健所、市町村保健センターについて講義する。                                                            | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 6)     | 齋藤   |
| 9  | 地域保健に関わる職種、保健師の役割・機能     | 地域保健に関わる職種、行政に所属する保健師の役割と機能について講義する。                                                            | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 6)     | 齋藤   |
| 10 | 保健医療福祉の動向と対策             | 少子化対策から子ども・子育て支援、児童虐待防止、高齢化対策、がん対策、精神障害者の自立・社会参加の促進、自殺対策、難病対策等から、保健医療福祉行政における昨今の主題と対策をとりあげ講義する。 | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 7)     | 齋藤   |
| 11 | 保健医療福祉計画とヘルスプロモーション      | 地域行政政策の主要概念として位置づくヘルスプロモーションに焦点を当て、WHOバンコク憲章とヘルスプロモーションの定義、活動方法、成功させるプロセスについて講義する。              | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 8)     | 齋藤   |
| 12 | 地方自治体における保健医療福祉の計画と評価（1） | 保健師が担う政策形成のプロセスと方法、政策形成のためのPDCAサイクルを理解する。                                                       | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 8)     | 齋藤   |
| 13 | 地方自治体における保健医療福祉の計画と評価（2） | 地域の保健医療福祉施策の各種計画、保健医療福祉計画の立案プロセスについて講義する。                                                       | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 8)     | 齋藤   |
| 14 | 健康危機発生時の保健医療福祉の連携        | 新型インフルエンザ等の、国民の健康に重大な被害を及ぼす可能性がある感染症発時の、地域における健康危機管理体制と保健医療福祉の連携について講義する。                       | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 9)     | 齋藤   |
| 15 | 公衆衛生に関する国際的な活動           | 国際保健の歩み、国連関係機関における国際保健活動について講義する。                                                               | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 9)     | 齋藤   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                    | 著者・編者 | 出版社       |
|-----|-----------------------|-------|-----------|
| 教科書 | 標準保健師講座5 保健医療福祉行政論    |       | 医学書院      |
| 教科書 | 公衆衛生がみえる第6版 2024-2025 |       | メディックメディア |
| 参考書 | これからの保健医療福祉行政論第3版     | 星旦二   | 日本看護協会出版会 |
| 参考書 | 国民衛生の動向2024/2025      |       | 厚生統計協会    |
| 参考書 | 国民の福祉と介護の動向2024/2025  |       | 厚生統計協会    |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 90%  |      |            |      |        | 10%  |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

保健医療福祉の財政

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー           | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 齋藤 智子 | 火・水曜日 12：10～16:30 | 西新潟中央病院キャンパス（313） | tomokosaito@nupals.ac.jp |

|       |        |  |          |         |
|-------|--------|--|----------|---------|
| 保健統計学 | 授業担当教員 |  | 野原 真理    |         |
|       | 補助担当教員 |  |          |         |
|       | 区分     |  | 専門基礎選択科目 |         |
|       | 年次・学期  |  | 3年次 前期   | 単位数 2単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ○III. V/A-3, B-2                     |       |  |  |

【授業概要】

公衆衛生看護の基盤となる統計学の基礎を理解し、保健統計調査の解釈ができるように学修する。また推測統計学の基本的な概念を理解し、それを医療や看護の場面で応用できる能力を養う。

【実務経験】

行政保健師として実務経験をもつ教員が、対象となる地域住民の健康課題を明らかにするためのデータの扱い、保健統計の基礎について講義・演習を行う。

【到達目標】

- 1. 公衆衛生看護の基盤となる統計学の基礎を理解し、説明できる。
- 2. 保健統計調査の基礎について理解し、説明できる。
- 3. 基本的な統計的計算を手計算できる、または表計算ソフトなどを用いて、実行できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目      | 授業内容                                                            | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号 | 担当教員 |
|----|-----------|-----------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------|--------|------|
| 1  | 統計学の基礎（1） | データの種類と分布、測定と尺度、確率分布について講義する。                                   | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1)     | 野原   |
| 2  | 統計学の基礎（2） | 代表値と散布度、相関係数、回帰分析、クロス集計について講義する。                                | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 3)  | 野原   |
| 3  | 統計学の基礎（3） | 正規分布を中心とした推計と検定の基本について講義する。                                     | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1)     | 野原   |
| 4  | 統計学の基礎（4） | 平均値の検定、比率の検定について講義する。                                           | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 3)  | 野原   |
| 5  | 統計学の基礎（5） | PCを用いた図表作成及びプレゼンテーションについて講義する。                                  | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1)     | 野原   |
| 6  | 人口統計（1）   | 人口静態統計の基本と動向について講義する。                                           | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 7  | 人口統計（2）   | 人口動態統計の基本と動向及び生命表について講義する。                                      | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 8  | 人口統計（3）   | 主な健康指標と動向について講義する。                                              | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3)  | 野原   |
| 9  | 保健統計調査（1） | 基幹統計の基本と動向①（国勢調査、国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査）について講義する。                 | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 10 | 保健統計調査（2） | 基幹統計の基本と動向②（学校保健統計、社会生活基本調査）について講義する。                           | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 11 | 保健統計調査（2） | 基幹統計以外の基礎的な統計調査の基本と動向（感染症発生動向調査、食中毒統計調査、国民健康・栄養調査、その他）について講義する。 | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 12 | 保健統計調査（3） | 医療経済統計の基本と動向について講義する。                                           | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 13 | 保健統計調査（4） | 疾病・障害の定義と分類（ICD・ICF）について講義する。                                   | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2)     | 野原   |
| 14 | 情報処理（1）   | 情報処理の基礎的事項及び文献検索について講義する。                                       | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3)  | 野原   |
| 15 | 情報処理（2）   | データの扱い方、統計処理について講義する。                                           | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3)  | 野原   |

【教科書・参考書】

|     |                       |       |      |
|-----|-----------------------|-------|------|
| 種別  | 書名                    | 著者・編者 | 出版社  |
| 教科書 | 標準保健師講座4 疫学・保健統計学 第4版 |       | 医学書院 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

|       |                |                   |                     |
|-------|----------------|-------------------|---------------------|
| 氏名    | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス            |
| 野原 真理 | 火曜日13：00～17：00 | 西新潟中央病院キャンパス（314） | nohara@nupals.ac.jp |

|            |  |        |  |          |         |
|------------|--|--------|--|----------|---------|
| 公衆衛生看護活動論I |  | 授業担当教員 |  | 齋藤 智子    |         |
|            |  | 補助担当教員 |  |          |         |
|            |  | 区分     |  | 専門教育選択科目 |         |
|            |  | 年次・学期  |  | 3年次 前期   | 単位数 2単位 |

|              |                                              |  |       |  |  |
|--------------|----------------------------------------------|--|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）         |  | 保健師課程 |  |  |
|              | ◎III、○VI／A-2,3,5 B-2 C-2,3,4,5 D-3,4,5 E-1,2 |  |       |  |  |

【授業概要】

さまざまな健康レベル、発達段階にある対象者と課題別の活動展開として、母子保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障害者（児）保健活動、難病の保健活動、感染症の保健活動などの実際を学習する。本科目は対象別・課題別に活動の基盤となる法律や制度と関連させながら保健師の役割とその活動内容を具体的に学修する。

【実務経験】

行政保健師としての実務経験を活かし具体的な事例を示しながら教授する。

【到達目標】

- 1) 母子保健福祉システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 2) 学校保健システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 3) 成人・高齢者保健システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 4) 産業保健システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 5)在宅ケアシステム、介護支援システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 6) 障害者支援システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 7) 難病患者支援システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。
- 8) 感染症対策システムと看護の展開方法が理解でき、説明できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                 | 授業内容                                                                         | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号 | 担当教員 |
|----|----------------------|------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------|--------|------|
| 1  | 母子保健活動の動向と課題         | 母子保健（親子保健）の動向、母子保健活動の理念と歴史的変遷、母子保健に関する健康指標の動向と母子保健施策の変遷について講義する。             | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 2  | 乳幼児期の成長発達と健康課題への支援   | 乳幼児期の成長発達と保健指導、母子保健福祉における個別支援、グループ・地域組織支援、システムづくり、地域づくりの展開方法と保健師の役割について講義する。 | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 3  | 支援のニーズが高い親子の健康課題と支援  | 健康上のリスクを持つ母子への支援、子どもの虐待、女性への暴力、外国人母子への支援について講義する。                            | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 4  | 成人保健活動の動向と課題         | 成人保健活動の対象、社会背景と健康課題、活動の基盤となる法律と制度について講義する。                                   | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 5  | 高齢者保健活動の動向と課題        | 高齢者保健の動向、高齢者の保健福祉施策と保健師活動、在宅要援護高齢者と家族への保健指導、地域包括ケアにおける保健師活動について講義する。         | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 6  | 成人・高齢者保健システムと看護の展開方法 | 成人・高齢者の健康づくり、生活習慣病対策、介護に関わるシステムと保健師活動の展開方法、地域の特性に応じた成人・高齢者への看護の展開方法について講義する。 | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 7  | 障がい者（児）の保健活動         | 障がい者（障がい児）保健活動の対象、健康課題と社会背景、活動の基盤となる法律と制度。保健師の役割について講義する。                    | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 8  | 歯科口腔保健と対策            | 生涯を通じた歯科口腔保健、摂食嚥下機能低下予防対策、自己管理（セルフケア）について講義する。                               | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 9  | 難病保健施策と保健活動          | 難病対策の動向、難病保健施策、難病対策における保健師の役割、難病患者の生活と支援について講義する。                            | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 10 | 精神保健医療福祉の動向と保健活動     | 精神保健活動の現状と保健師の役割、地域の中の自殺予防対策（ゲートキーパーの役割）について講義する。                            | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 11 | 精神障害者の生活と支援          | 精神障害者への支援と社会病理を背景とする精神的問題への対応について講義する。                                       | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 12 | 感染症対策システムと看護の展開方法    | 感染症保健の理念と歴史的変遷、感染症保健施策と保健師活動、感染症発生時、平常時の保健師の役割と活動方法について講義する。                 | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 13 | 結核対策とエイズ対策と保健師の役割    | 結核対策の変遷、結核管理の体系、法的根拠、HIV・AIDS、肝炎などの保健施策と保健師の役割について講義する。                      | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 14 | 健康危機管理対策と保健師の役割      | 健康危機管理と展開方法、感染症集団発生と保健活動について講義する。                                            | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |
| 15 | 災害と保健活動              | 災害の定義・分類、災害サイクルと災害医療・災害保健、災害支援制度とシステムと保健師活動について講義する。                         | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） |        | 齋藤   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                       | 著者・編者  | 出版社    |
|-----|--------------------------|--------|--------|
| 教科書 | 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版 | 中谷芳美・他 | 医学書院   |
| 参考書 | 国民衛生の動向2024/2025         |        | 厚生統計協会 |
| 参考書 | 国民の福祉と介護の動向2024/2025     |        | 厚生統計協会 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 80%  |      |            |      | 15%    |      | 5%                      |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー           | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 齋藤 智子 | 火・水曜日 12：10～16:30 | 西新潟中央病院キャンパス（313） | tomokosaito@nupals.ac.jp |

|             |        |  |             |         |
|-------------|--------|--|-------------|---------|
| 公衆衛生看護活動論II | 授業担当教員 |  | 野原 真理・齋藤 智子 |         |
|             | 補助担当教員 |  |             |         |
|             | 区分     |  | 専門教育選択科目    |         |
|             | 年次・学期  |  | 3年次 前期      | 単位数 2単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ○Ⅲ. V/A-4,5,6、B-1,2、C-2、D-3,4,5、E-1  |       |  |  |

【授業概要】

個人・家族・集団・組織を対象とした支援について学修する。地域の人々の行動変容を促すための健康行動理論や保健指導、家庭訪問のプロセスと基礎的技術、個別の健康相談や、住民のヘルスニーズから実施する健康教育、地域におけるグループ支援や組織化に対する活動を学修する。

【実務経験】

行政保健師としての実務経験を活かし必要に応じて事例展開しながら教授する。

【到達目標】

- 1）公衆衛生看護活動の実践のための基本的な技術と方法について理解し、説明できる。
- 2）公衆衛生看護の基盤となるさまざまな理論を理解し、説明できる。
- 3）地域診断の意義と方法について理解し、説明できる。
- 4）家庭訪問の意義と方法について理解し、説明できる。
- 5）健康診査、健康相談の意義と方法について理解し、説明できる。
- 6）健康教育の意義と方法について理解し、説明できる。
- 7）グループ支援・地区組織育成支援の意義と方法について理解し、説明できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                               | 授業内容                                                                                       | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号      | 担当教員     |
|----|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------|----------|
| 1  | 公衆衛生看護の技術                          | 公衆衛生看護に求められるもの、公衆衛生看護を取り巻く状況の変化、公衆衛生看護における保健指導など、既習の公衆衛生看護学概論を想起し、保健師活動について発表する。           | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2)       | 野原       |
| 2  | 地域診断の方法①                           | 保健医療福祉関連の統計 資料とその活用・地域把握の方法と実際について講義する。                                                    | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3)    | 野原       |
| 3  | 地域診断の方法②                           | 地域診断のDVDを視聴し、地域診断のプロセスを理解する。その後、自身が暮らす地域の地域診断を実際に行い、レポートする。                                | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 6)    | 野原       |
| 4  | 健康教育の技術                            | 健康教育の理論、対象、方法、評価（ポピュレーションアプローチと健康教育）について講義する。グループワークを行いポピュレーションアプローチを想起しながら、一次予防の実践例を発表する。 | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 齋藤       |
| 5  | 演習オリエンテーション、地域診断に基づく健康教育のテーマ設定を行う① | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 6  | 地域診断に基づく健康教育のテーマ設定を行う②             | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 7  | 健康教育の企画書と指導案の作成①                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 8  | 健康教育の企画書と指導案の作成②                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 9  | 健康教育の企画書と指導案の作成③                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 10 | 健康教育の企画書と指導案の作成④                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 11 | 健康教育の企画書と指導案の作成⑤                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 12 | 健康教育の企画書と指導案の作成⑥                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 13 | 健康教育の企画書と指導案の作成⑦                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 14 | 健康教育の企画書と指導案の作成⑧                   | グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。                                                          | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 15 | 健康教育の発表①                           | 学生は健康教育を受講する対象者になったり、保健師役になるなどそれぞれ役割を担い健康教育の発表を行う。                                         | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 16 | 健康教育の発表②                           | 学生は健康教育を受講する対象者になったり、保健師役になるなどそれぞれ役割を担い健康教育の発表を行う。                                         | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 17 | 健康教育の評価①                           | 健康教育発表時に捉えた、対象者の反応等から健康教育の評価をグループ毎に行い、発表をする。改善の必要があれば、企画書と指導案へ修正を加える。                      | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) 6) | 野原<br>齋藤 |
| 18 | 健康教育の評価②                           | 健康教育発表時に捉えた、対象者の反応等から健康教育の評価をグループ毎に行い、発表をする。改善の必要があれば、企画書と指導案へ修正を加える。                      | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2)       | 野原<br>齋藤 |
| 19 | 保健指導の理論の活用                         | 家庭訪問と健康相談で活用できる理論と技術について講義をする。                                                             | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 4)    | 齋藤       |
| 20 | 家庭訪問の技術                            | 家庭訪問の法的根拠、家庭訪問のプロセス、家庭訪問における支援計画と方法、評価について講義する。DVDを視聴し、家庭訪問時のマナーを含めて保健師の支援についてグループワークを行う。  | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 5)    | 野原<br>齋藤 |
| 21 | 健康相談の技術                            | 健康相談の目的、対象、支援方法と評価について講義する。DVDを視聴し、個別の相談から健康課題を抽出する方法についてグループワークを行う。                       | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 5)    | 齋藤       |
| 22 | 健康診査の目的と評価                         | 健康診査の法的根拠、目的、対象、方法、評価について講義する。                                                             | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 5)    | 齋藤       |
| 23 | 地域組織活動の概要                          | 地域組織活動の歴史、活動の概念、特徴と類型について講義する。                                                             | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7)    | 齋藤       |
| 24 | 地域組織活動を支援する                        | 地域組織活動で活用できる理論と方法論について講義する。地域住民が主体的に活動できるように支援するということをはどういふことか、学生生活を例に、グループワークを行う。         | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7)    | 齋藤       |
| 25 | セルフヘルプグループ                         | セルフヘルプグループの歴史、特徴、保健師の支援の実際について講義する・                                                        | 演習    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7)    | 齋藤       |

| 回  | 授業項目              | 授業内容                                                                              | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号   | 担当教員 |
|----|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------|----------|------|
| 26 | 地域組織活動とグループ支援の実際  | 地域組織活動とグループ支援のDVDを視聴し、それぞれの特徴を捉えながら保健師の支援と役割についてグループワークを行う。                       | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7) | 齋藤   |
| 27 | 地域組織活動とグループ支援の評価  | 地域組織活動の支援方法、評価、グループ支援の特徴、方法、評価について講義する。                                           | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7) | 齋藤   |
| 28 | 地域ケアシステムの概要       | 地域ケアシステムの理念・目的・地域ケアシステムのつくり方と発展過程、地域ケアシステムにおける保健師の活動について講義する。                     | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7) | 齋藤   |
| 29 | ネットワークの形成とシステムづくり | 事例を通して地域ケアシステムの構成員にはどのような関係職種や機関が必要かグループワークする。                                    | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7) | 齋藤   |
| 30 | 地域ケアシステムの実際・まとめ   | 自身が暮らす地域を例にして、互助にはどのようなものがあるか、またどのような互助が必要かをグループワークする。さらに地域ケアシステムにおける保健師の役割を考察する。 | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 7) | 齋藤   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                       | 著者・編者   | 出版社     |
|-----|--------------------------|---------|---------|
| 教科書 | 『標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術』第5版  | 中村裕美子・他 | 医学書院    |
| 教科書 | 『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論』第6版 | 標美奈子・他  | 医学書院    |
| 教科書 | 公衆衛生看護活動論 技術演習第4版        |         | クオリティケア |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 80%  |      |            |      |        | 10%  | 10%                     |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー           | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 野原 真理 | 火曜日13：00～17：00    | 西新潟中央病院キャンパス（314） | nohara@nupals.ac.jp      |
| 齋藤 智子 | 火・水曜日 12：10～16:30 | 西新潟中央病院キャンパス（313） | tomokosaito@nupals.ac.jp |

【その他】

単位認定60点以上。  
筆記試験80％、演習への参加態度等（健康教育企画書・発表・報告書等）10％、  
レポート課題10％ なお再試験は実施しません。

|           |        |  |          |         |
|-----------|--------|--|----------|---------|
| 公衆衛生看護管理論 | 授業担当教員 |  | 野原 真理    |         |
|           | 補助担当教員 |  |          |         |
|           | 区分     |  | 専門教育選択科目 |         |
|           | 年次・学期  |  | 3年次 前期   | 単位数 2単位 |

|              |                                      |  |       |  |
|--------------|--------------------------------------|--|-------|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） |  | 保健師課程 |  |
|              | ○III. V/A-1,6,7、B-2,3、D-6、E-3        |  |       |  |

【授業概要】

看護管理や公衆衛生看護管理の「管理」という用語から、管理的立場にある保健師や看護師に求められる能力と思われがちである。しかし、管理は新人にも経験豊富な保健師・看護師にも求められるものであり、看護職が行う活動（ケア）の質を高める活動である。看護の専門性を発揮するために、職務遂行上何らかの責任をもつすべての看護職に必要な管理的機能についての基礎知識を習得し、公衆衛生看護管理の目的や機能、および健康危機管理における法律・制度を学修する。

【実務経験】

行政保健師としての実務経験を活かし必要に応じて事例展開しながら教授する。

【到達目標】

- 1）公衆衛生看護管理の目的、機能を理解する。
- 2）公衆衛生看護管理に関する法律・制度を説明することができるようになる。
- 3）地域ケアの質を保証するために行う公衆衛生看護管理について理解する。
- 4）事例を通して健康危機管理の目的と方法を理解する

【授業計画】

| 回  | 授業項目                        | 授業内容                                                            | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号   | 担当教員 |
|----|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------|----------|------|
| 1  | 公衆衛生看護管理とは                  | 看護管理の定義、看護管理と公衆衛生看護管理の違い、公衆衛生看護管理の目的について講義する。                   | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 3)    | 野原   |
| 2  | 公衆衛生看護管理の機能（1）              | 公衆衛生看護管理の内容と、公衆衛生看護管理の機能（事例管理、地区管理）について講義する。                    | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 3  | 公衆衛生看護管理の機能（2）              | 公衆衛生看護管理の機能（事業・業務管理、組織運営・管理）について講義する。                           | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 4  | 公衆衛生看護管理の機能（3）              | 公衆衛生看護管理の機能（予算管理、予算の原則・仕組み・種類）について講義する。                         | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 5  | 公衆衛生看護管理の機能（4）              | 公衆衛生看護管理の機能（人事管理・人材管理）について講義する。                                 | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 6  | 公衆衛生看護管理の機能（5）              | 公衆衛生看護管理の機能（情報管理）について講義する。                                      | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 7  | 地域ケアのサービス評価と改善              | 地域ケアとして展開されるサービスの評価・改善、組織・機関の組織診断、地域におけるケアの質保証の方法について講義する。      | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 8  | 地域包括ケアシステムの構築と発展過程          | 地域包括ケアシステムの概念、地域包括ケアシステムの構築と発展過程、地域特性を活かした社会資源の開発とその管理について講義する。 | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 2) 3) | 野原   |
| 9  | 健康危機管理とは                    | 健康危機管理とは何か、健康危機管理の現状、健康危機管理の法的根拠、健康危機管理と保健師活動について講義する。          | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3) 4) | 野原   |
| 10 | COVID-19対策における行政看護職の役割と活動方法 | COVID-19における保健所の体制づくり、感染症発生時の疫学調査、集団発生時の保健活動について講義する。           | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3) 4) | 野原   |
| 11 | 自然災害健康危機管理における行政看護職の役割と活動方法 | 災害時の初期の保健活動、被災後の経過に沿った保健活動、中・長期の回復期の保健活動について講義する。               | 講義    | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3) 4) | 野原   |
| 12 | 児童虐待とDVの予防対策と発生時に対応         | 児童虐待のアセスメント、予防対策と発生時対応にかかわる行政看護職の役割りと活動方法について講義する。              | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3) 4) | 野原   |
| 13 | 倫理的問題の側面から看護管理を考える          | 倫理的問題を理解するために事例分析を通して保健師の活動や支援についてグループワークを行う。                   | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 2) 3)    | 野原   |
| 14 | 専門職として責務とキャリアアップについて考える     | 専門職として責務と成長、継続教育、自己開発と研究について講義する。専門職の責務についてグループワークを行う。          | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 3)    | 野原   |
| 15 | これからの保健師に求められる看護管理機能        | 事例を通して保健師に求められる看護管理機能についてグループワークを行う。これからの保健師に求められる看護管理機能に講義する。  | 講義・演習 | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1) 3)    | 野原   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                       | 著者・編者 | 出版社  |
|-----|--------------------------|-------|------|
| 教科書 | 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版   |       | 医学書院 |
| 教科書 | 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版 |       | 医学書院 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 80%  |      |            |      | 15%    |      | 5%                      |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス            |
|-------|----------------|-------------------|---------------------|
| 野原 真理 | 火曜日13：00～17：00 | 西新潟中央病院キャンパス（314） | nohara@nupals.ac.jp |

|              |        |                                          |     |     |
|--------------|--------|------------------------------------------|-----|-----|
| 健康生活自己管理支援実習 | 授業担当教員 | 小山 歌子・明神 一浩・野原 真理・齋藤 智子・戸田 肇・石綿 啓子・川崎 久子 |     |     |
|              | 補助担当教員 |                                          |     |     |
|              | 区分     | 専門教育必修科目                                 |     |     |
|              | 年次・学期  | 3年次 後期～4年次 前期                            | 単位数 | 2単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ○II、○III、○IV、◎V/D-3,4,6、E-1、F-1,2    |       |  |  |

【授業概要】

地域で生活する人々は、健康な人はもちろん、生涯、慢性疾患とともに暮らしの中で自分で健康管理することが求められており、看護者にその支援が求められている。その場である、疾病の早期発見・予防を支援する健診センターや、慢性疾患の健康・疾病管理を支援する外来看護の場で、その実践を通して人々の健康生活支援のあり方を学ぶ。

【実務経験】

（小山）行政保健師、地域保健課長としての実務経験を活かし、本科目の講義を行う。  
（明神）臨床17年、訪問看護ステーション3年の経験と、看護専門学校2年、大学非常勤講師2年の教育経験を持つ

【到達目標】

- 1. 健診センターの役割と疾病予防の早期発見・予防について理解できる
- 2. 病院外来の役割が理解できる
- 3. 病院外来に通院する慢性期患者の心理を理解し生活指導方法の学習を深める
- 4. 健康生活支援のあり方の理解を深める

【授業計画】

| 回 | 授業項目                        | 授業内容                                                   | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                            | 到達目標番号  | 担当教員          |
|---|-----------------------------|--------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------|---------|---------------|
| 1 | 1日目 学習計画立案                  | 実習施設ガイダンス<br>健診センターの役割に関する学習<br>病院外来に通院する慢性期患者情報に基づく学習 | 実習   | 予習：健診センターと病院外来の役割について<br>復習：慢性期患者情報について | 1.2     | 小山<br>明神<br>他 |
| 2 | 2～9日目<br>健診センター実習<br>病院外来実習 | 健診センターと病院外来の実習を展開する                                    | 実習   | 予習：実習記録<br>復習：翌日の実習について                 | 1.2.3.4 | 小山<br>明神<br>他 |
| 3 | 10日目 学習のまとめ                 | 学びの再構築                                                 | 実習   | 復習：実習記録                                 | 4       | 小山<br>明神<br>他 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                              | 著者・編者          | 出版社    |
|-----|---------------------------------|----------------|--------|
| 教科書 | ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」地域・在宅看護論① | 臺有桂、石田千絵、山下留理子 | メディカ出版 |
| 教科書 | ナーシンググラフィカ「地域療養を支える技術」地域・在宅看護論② | 臺有桂、石田千絵、山下留理子 | メディカ出版 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他  |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|------|
| 割合   |      |      |            |      |        | 10%  |                         | 90%  |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | 実習記録 |

【課題に対するフィードバック方法】

実習終了時の面談でフィードバックいたします。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー           | 研究室（部屋番号）                       | Eメールアドレス                     |
|-------|-------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 小山 歌子 | 月・火曜日12:10～13:00  | 西新潟中央病院キャンパス（317）               | koyama@nupals.ac.jp          |
| 明神 一浩 | 水曜日13：00～17：00    | 西新潟中央病院キャンパス（312）               | myoujin@nupals.ac.jp         |
| 野原 真理 | 火曜日13：00～17：00    | 西新潟中央病院キャンパス（314）               | nohara@nupals.ac.jp          |
| 齋藤 智子 | 火・水曜日 12：10～16:30 | 西新潟中央病院キャンパス（313）               | tomokosaito@nupals.ac.jp     |
| 戸田 肇  | 月～金 12時30分～13時    | 西新潟中央病院キャンパス（213）               | toda@nupals.ac.jp            |
| 石綿 啓子 | 講義終了後             | 新津キャンパス（J205）、西新潟中央病院キャンパス（322） | ishiwata@nupals.ac.jp        |
| 川崎 久子 | 水曜日 16：00～17：00   | 西新潟中央病院キャンパス（323）               | hisako-kawasaki@nupals.ac.jp |

|              |                                                              |        |  |                          |  |     |
|--------------|--------------------------------------------------------------|--------|--|--------------------------|--|-----|
| 成人看護技術演習     |                                                              | 授業担当教員 |  | 平山 恵美子・古地 順子・西山 和代・山本 淳子 |  |     |
|              |                                                              | 補助担当教員 |  |                          |  |     |
|              |                                                              | 区分     |  | 専門教育必修科目                 |  |     |
|              |                                                              | 年次・学期  |  | 3年次 前期                   |  | 単位数 |
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）                         |        |  | 保健師課程                    |  |     |
|              | ◎ⅢⅣⅤ，Ⅶ／A-1,2,3,4,5,6,7,B-2,3,C-1,2,3,4,5,D-1,2,3,4,5,6,E-2,3 |        |  |                          |  |     |

【授業概要】  
（慢性系）既習の知識・技能を統合しながら、健康の慢性的な揺らぎのある成人とその家族への支援を演習（事例演習・技術演習）を通して修得することを目的とする。  
（急性系）急激な健康破綻をきたした成人に必要な看護技術について事例を通して学修する。模擬患者やシミュレーターを活用し具体的状況を設定した事例において、「急激な健康破綻をきたした成人の看護」で学んだ知識に基づいて臨床判断を行い、優先順位に従い問題解決するとともに時間管理を行うなど実践的に学修する。また状況設定のための準備、後片付けについても実践的に学ぶ。

【実務経験】  
（平山）総合病院で14年間、整形外科や内科外科重症病棟において看護スタッフ、臨床指導者、看護師長として活動した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の「成人看護技術演習」で演習を行う。  
（古地）大学病院に12年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の各授業において具体的事例を用いるとともに看護の実践的課題にも言及する内容の授業を行う。  
（西山）臨床10年、大学非常勤実習助手5年、専門学校専任教員7年、勤務した経験を持つ。  
（山本）大学病院の臨床経験23年、専門学校専任教員3年勤務した経験を持つ。

- 【到達目標】  
（慢性）1～7回  
1) 健康の慢性的な揺らぎのある成人の看護過程を理解し、事例展開ができる。  
2) 成人看護技術（自己血糖測定、患者教育）が実施できる。  
（急性）8～15回  
1) 事例の状況から対象者とその家族へのアセスメントの視点および判断内容を述べるができる。  
2) アセスメントに基づいた看護計画を立案し、実施するとともに時間管理ができる。  
3) 実施した看護について評価し、記録することができる。  
4) 事例で用いる医療機器を原理に基づいて安全に操作することができる。  
5) カンファレンスにおいて自分の考えを述べるとともに他者の意見や助言に基づき修正ができる。  
6) 看護計画実施に際して準備、後片付けができる。

| 回   | 授業項目                                  | 授業内容                                                                                                                                                                            | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                              | 到達目標番号         | 担当教員                 |
|-----|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------------|
| 1   | 「健康の慢性的な揺らぎのある成人の看護」看護過程オリエンテーション・全体像 | 健康の慢性的な揺らぎのある成人に適切な看護を実践するための看護過程展開技術をグループワーク及び個人学習を通して学びます。<br>1.事例の看護過程の進め方及び技術演習の進め方<br>2.記録用紙の確認<br>3.看護過程展開-①（グループワーク）<br>1)事例の提示<br>2)全体像を描く                              | 講義・演習 | 予習：2年後期で学習した基礎看護学「看護過程展開技術」「急激な健康破綻をきたした成人の看護」で学習したゴードンの11の機能パターンを復習しておく。（60分）<br>復習：事例の全体像の理解を深める（30分）                   | 1)             | 平山<br>西山<br>古地<br>山本 |
| 2~3 | 看護過程展開-②<br>看護上の問題の抽出・優先度             | グループワークをとおして、事例の全体像の理解を深め看護上の問題の抽出を図ります。<br>看護過程展開-②（グループワーク）<br>1)看護上の問題の抽出<br>2)全体像図～看護問題の優先度の決定                                                                              | 講義・演習 | 予習：事例の全体像の理解を深める（30分）<br>復習：事例の全体像の理解を個人でより深め看護上の問題の抽出の厳密化を図る（60分）                                                        | 1)             | 平山<br>西山<br>古地<br>山本 |
| 4   | 看護過程展開-③<br>看護目標・援助計画の立案              | グループワークをとおして、事例の看護問題の優先度に沿って看護上の問題毎に看護目標・具体的援助計画を立案します<br>看護過程展開-③（グループワーク）<br>1)看護目標の設定<br>2)目標に対する具体的な援助計画の立案                                                                 | 講義・演習 | 予習：事例の看護目標・援助計画の立案を事前に考えグループワークに臨む（30分）<br>復習：グループで検討した看護目標・援助計画を再考する（60分）                                                | 1)             | 平山<br>西山<br>古地<br>山本 |
| 5   | 成人看護技術①<br>患者教育－自己血糖測定支援              | 患者教育は、事例の看護過程における具体的計画の実施段階として学ぶことで、より実践的な成人看護技術の修得を目指します。特に、具体的な患者教育の一環として自己血糖測定支援を取り上げ、これを事例の看護過程に沿って学ぶことで、実践的な技術をより深く習得できるように学びます。                                           | 講義・演習 | 予習：事前に患者教育および自己血糖測定について調べ、事例患者の留意事項について考えておく（30分）<br>復習：課題に取り組む（60分）                                                      | 1) ,2)         | 平山<br>西山<br>古地<br>山本 |
| 6   | 成人看護技術-②<br>患者教育－自己血糖測定支援の実施          | 自己血糖測定支援の実際を、事例の看護過程に沿って経験することで、看護過程への理解を深め、より実践的な患者教育の技術を習得することを目指します。 <u>課題レポート</u>                                                                                           | 演習    | 予習：事前に患者教育について調べ、事例患者の留意事項について考えておく（30分）<br>復習：課題に取り組む（60分）                                                               | 1) ,2)         | 平山<br>西山<br>古地<br>山本 |
| 7   | 看護過程展開-④                              | 看護過程展開-④（グループワーク・個人ワーク）<br>1）看護過程の評価<br>2）演習まとめ                                                                                                                                 | 講義・演習 | 予習：2年次で学んだ看護過程評価について復習しておく（30分）<br>復習：事例の看護過程評価をより深める（60分）                                                                | 1) ,2)         | 平山<br>西山<br>古地<br>山本 |
| 8   | 急性心筋梗塞により緊急入院となった対象者への看護①             | 激しい胸痛により救急搬送され、急性心筋梗塞の診断により経皮的冠動脈インターベンション（PCI）の施術を受けた40歳代男性患者とその家族への看護について学修します。状況はPIC術後1日目、全身状態の観察、酸素療法、ポンプや注入器を用いた輸液管理、各種モニターの観察および心電図測定を行い、アセスメント内容を報告し、記録するまでの内容を演習します。    | 演習    | 予習：循環器系の健康障害を有する対象者（急性心筋梗塞）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所をノートに記録してください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めてノートに記録してください。（30分）       | 1) 2) 3) 4) 6) | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |
| 9   | 急性心筋梗塞により緊急入院となった対象者への看護②             | 第8回授業においてアセスメントした内容から40歳代男性患者とその家族への看護計画を立案、実施するとともに、この実施内容について評価するためのカンファレンス、報告について実践的に学修します。                                                                                  | 演習    | 予習：循環器系の健康障害を有する対象者（急性心筋梗塞）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、これからの課題を含めて演習ノートに記録してください。（30分） | 1) 2) 3) 5) 6) | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |
| 10  | 侵襲の大きい検査（下部消化管造影）を受ける患者の看護①           | 外来通院中、確定診断のため下部消化管の内視鏡検査を受ける50歳代男性患者とその家族への看護について学修します。状況は、前回の外来診察において医師より直腸がんの疑いがあるため検査が必要といわれ、妻とともに来院した患者の検査の準備と説明、検査前の全身状態の観察、検査台への誘導、終了後の全身状態の観察を行いアセスメントし、報告するまでの内容を演習します。 | 演習    | 予習：消化器系の健康障害を有する対象者（直腸がん）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めて演習ノートに記録してください。（30分）     | 1) 2) 3) 4) 6) | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |

| 回  | 授業項目                           | 授業内容                                                                                                                                                                           | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                              | 到達目標番号            | 担当教員                 |
|----|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------------|
| 11 | 侵襲の大きい検査（下部消化管造影）を受ける患者の看護②    | 状況は、内視鏡検査を終了した患者が検査後観察のため外来のベッドに臥床し、妻が付き添っており、帰宅前に注意事項を説明する必要があります。第10回授業においてアセスメントした内容から50歳代男性患者とその家族への看護計画を立案、実施するとともに、この実施内容について評価するためのカンファレンス、報告について実践的に学修します。             | 演習   | 予習：消化器系の健康障害を有する対象者（直腸がん）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してきてください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めて演習ノートに記録してきてください。（30分） | 1) 2) 3) 5) 6)    | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |
| 12 | 手術目的（ストマ造設）で入院となった患者の看護①       | 直腸がんの診断により、低位前方切除術と人工肛門造設手術のために入院となった50歳代男性患者とその家族への看護について学修します。状況は手術前2日目の入院当日、術前オリエンテーション、呼吸訓練、深部静脈血栓症の予防、術後状態についての説明を行い、患者と家族の反応についてアセスメントし、手術前日の患者とその家族への看護計画立案までの内容を演習します。 | 演習   | 予習：消化器系の健康障害を有する対象者（直腸がん）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してきてください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めて演習ノートに記録してきてください。（30分） | 1) 2) 3) 4) 6)    | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |
| 13 | 手術目的（ストマ造設）で入院となった患者の看護②       | 状況は、手術当日、手術室から帰室した患者の全身状態および術創やストマの観察、ドレーン管理、ポンプや注入器を用いた輸液管理、酸素療法、各種モニターの観察を行い、アセスメント内容を報告するとともに家族への看護を実施し、この実施内容について評価するためのカンファレンス、報告について実践的に学修します。                           | 演習   | 予習：消化器系の健康障害を有する対象者（直腸がん）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してきてください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めて演習ノートに記録してきてください。（30分） | 1) 2) 3) 4) 5) 6) | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |
| 14 | 心筋梗塞後急変し生命危機状態（心肺停止）にある対象者の看護① | 急性心筋梗塞発症後の心臓リハビリテーションが進む中、急変した40歳代男性患者とその家族への看護について学修します。状況は、心臓リハビリテーションの200m歩行終了後、看護師が観察のために訪室すると患者は意識がなく、呼吸も停止していたため、緊急通報し、同僚に医師への報告と救急カートおよびAED準備を依頼し、心肺蘇生を行うまでの内容を演習します。   | 演習   | 予習：生命危機状態の対象者（心肺停止）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してきてください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めて演習ノートに記録してきてください。（30分）       | 1) 3) 4) 5) 6)    | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |
| 15 | 心筋梗塞後急変し生命危機状態（心肺停止）にある対象者の看護② | 第14回授業において40歳代男性患者に実施した内容について評価するとともに今後の課題を明らかにするためのカンファレンスを行い、記録するまでを実践的に学修します。                                                                                               | 演習   | 予習：生命危機状態の対象者（心肺停止）への看護①②で学んだ内容を復習し、演習に必要な箇所を演習ノートに記録してきてください。（60分）<br>復習：演習内容を振り返り、自己の課題を含めて演習ノートに記録してきてください。（30分）       | 1) 3) 5) 6)       | 古地<br>山本<br>平山<br>西山 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                            | 著者・編者        | 出版社        |
|-----|-------------------------------|--------------|------------|
| 教科書 | 看護学テキスト「急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」     | 編集:林直子/佐藤まゆみ | 南江堂        |
| 教科書 | 看護学テキスト「急性期看護Ⅱ クリティカルケア」改定第4版 | 編集:林直子/佐藤まゆみ | 南江堂        |
| 参考書 | 系統看護学講座成人看護学[6]内分泌・代謝         | 吉岡成人         | 医学書院       |
| 参考書 | 検査値早わかりガイド第3版                 | 江口正信         | サイオ出版      |
| 参考書 | 糖尿病・代謝・栄養疾患ビジュアルブック           | 落合滋之         | 学研メディカル秀潤社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験                   | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート                             | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他          |
|------|------------------------|------|------------|------|--------|----------------------------------|-------------------------|--------------|
| 割合   | 30%                    |      |            |      |        | 35%                              | 10%                     | 25%          |
| 備考   | (慢性系) 15%<br>(急性系) 15% |      |            |      |        | (慢性系) 6回目授業でレポート課題を課す(急性系) 課題シート | (急性系) 授業への取り組み          | (慢性系) 看護過程記録 |

【課題に対するフィードバック方法】

(慢性系) レポートおよび看護過程記録の評価結果は、定期試験期間後に開示する。  
(急性系) レポートの集計結果および観察記録評価は随時または授業中に開示

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー          | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                   |
|--------|------------------|-------------------|----------------------------|
| 平山 恵美子 | 水曜日13:00～17:00   | 西新潟中央病院キャンパス（319） | emikohirayama@nupals.ac.jp |
| 古地 順子  | 月～金曜日12：10～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（318） | kochi@nupals.ac.jp         |
| 西山 和代  | 授業終了後            | 西新潟中央病院キャンパス（211） | k-nishiyama@nupals.ac.jp   |
| 山本 淳子  | 授業終了後            | 西新潟中央病院キャンパス（324） |                            |

【その他】

(慢性系) 各授業は配布されるプリント主体で行う。  
(急性系) 各授業は教科書主体で行う他、随時資料を配布する。  
【成績評価基準】 (慢性系) 看護過程記録およびレポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。(急性系) 演習課題シート他提出物および定期試験  
【成績評価基準】 慢性系・急性系のそれぞれの成績総合（100点満点）のうち60点以上を合格とする。

|                     |                                                                    |        |                          |     |     |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------|-----|-----|
| 健康の慢性的揺らぎのある成人の看護実習 |                                                                    | 授業担当教員 | 平山 恵美子・西山 和代・山本 淳子・大野 直子 |     |     |
|                     |                                                                    | 補助担当教員 |                          |     |     |
|                     |                                                                    | 区分     | 専門教育必修科目                 |     |     |
|                     |                                                                    | 年次・学期  | 3年次 後期～4年次 前期            | 単位数 | 2単位 |
| 看護学部<br>看護学科        | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）                               | 保健師課程  |                          |     |     |
|                     | ◎Ⅱ、Ⅲ／A-1,2,3,4,5,6,7,8,B-2,3,C-1,2,3,4,5,D-1,2,3,4,5,6,E-2,3,F-1,2 |        |                          |     |     |

【授業概要】

慢性的な疾病や障害を有する成人とその家族への看護のあり方を理解しながら、対象者の状態に応じた看護過程を展開し、対象が慢性的な揺らぎを持ちながらも生活に折り合いをつけてその人らしく生きることを支援するための看護実践能力を養うことを目的とする。

【実務経験】

（西山）臨床10年、大学非常勤実習助手5年、専門学校専任教員7年、勤務した経験を持つ。  
（平山）総合病院で14年間、整形外科や内科外科重症病棟において看護スタッフ、臨床指導者、看護師長として活動した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の「健康の慢性的揺らぎのある成人の看護」で講義を行う。  
（山本）大学病院の臨床経験23年、専門学校専任教員3年勤務した経験を持つ。

【到達目標】

1. 慢性的な揺らぎとともに生きる対象の身体的・精神的・社会的な特徴を説明できる
2. 慢性的な揺らぎとともに生きる対象の看護計画を科学的根拠に基づいて立案できる
3. 受け持ち患者に対して、倫理的配慮に基づく看護実践と評価ができる
4. 受け持ち患者がその人らしい生活を継続するために必要な他職種との連携について考えることができる

【授業計画】

| 回   | 授業項目            | 授業内容                        | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                | 到達目標番号  | 担当教員           |
|-----|-----------------|-----------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------|
| 1   | ガイダンス<br>学習計画立案 | 実習施設ガイダンス<br>受け持ち患者情報に基づく学習 | 演習   | 予習：<br>ビジョンゴールを設定する。ルーブリックの事前学習項目についての、資料をポートフォリオに整理する。（120分）<br>復習：受け持ち患者の疾患についての調べ学習（60分） | 1.2.3.4 | 平山<br>西山<br>山本 |
| 2~9 | 病棟実習            | 受け持ち患者に対する看護過程展開            | 演習   | 予習：実習記録の整理（60分）<br>復習：翌日の学習計画の立案（60分）                                                       | 1.2.3.4 | 平山<br>西山<br>山本 |
| 10  | 実習のまとめ          | 学びの再構築                      | 自己学習 | 復習：<br>ポートフォリオの作成（60分）                                                                      | 1.2.3.4 | 平山<br>西山<br>山本 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                       | 著者・編者        | 出版社  |
|-----|--------------------------|--------------|------|
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学2呼吸器    | 川村雅文         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学3循環器    | 吉田俊子         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学4血液・造血器 | 飯野京子         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学5消化器    | 松田明子         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学6内分泌・代謝 | 吉岡成人         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学7脳・神経   | 井手隆文         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学8腎・泌尿器  | 河邊博史         | 医学書院 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱがん看護学        | 小松浩子         | 医学書院 |
| 参考書 | 糖尿病療養指導の手びき              | 「日本糖尿病学会(編集) | 南江堂  |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|--------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        |      |                         | 100%               |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | ルーブリックによるパフォーマンス評価 |

【課題に対するフィードバック方法】

提出された記録、実習状況に対して、その都度、ルーブリックに照らして形成的評価を行う

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                   |
|--------|----------------|-------------------|----------------------------|
| 平山 恵美子 | 水曜日13:00～17:00 | 西新潟中央病院キャンパス（319） | emikohirayama@nupals.ac.jp |
| 西山 和代  | 授業終了後          | 西新潟中央病院キャンパス（211） | k-nishiyama@nupals.ac.jp   |
| 山本 淳子  | 授業終了後          | 西新潟中央病院キャンパス（324） |                            |
| 大野 直子  | 授業終了後          | 西新潟中央病院キャンパス（324） | n-ohno@nupals.ac.jp        |

【その他】

【成績評価】ルーブリック評価表（100点満点）において60点以上を合格とする

|                     |                                                                |        |                         |     |     |
|---------------------|----------------------------------------------------------------|--------|-------------------------|-----|-----|
| 急激な健康破綻をきたした成人の看護実習 |                                                                | 授業担当教員 | 古地 順子・山本 淳子・西山 和代・橋本 有紀 |     |     |
|                     |                                                                | 補助担当教員 |                         |     |     |
|                     |                                                                | 区分     | 専門教育必修科目                |     |     |
|                     |                                                                | 年次・学期  | 3年次 後期～4年次 前期           | 単位数 | 2単位 |
| 看護学部<br>看護学科        | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）                           |        | 保健師課程                   |     |     |
|                     | ◎Ⅰ.Ⅲ○Ⅱ.Ⅳ／A-1.2.3.4.5.6.7.8.B-1.2.3.C-1.2.3.4.5.D-1.2.3.4.5.6.F |        |                         |     |     |

【授業概要】  
急性疾患の発症や慢性疾患の急性増悪、あるいは侵襲のある治療を受けるなど、急激に健康破綻をきたした成人とその家族の特徴を理解し、身体面、精神面、社会面の変化の視点から対象者の反応を捉え、その時々適切な看護を実践するための基礎的能力を養うことを目的とする。

【実務経験】  
(山本) 大学病院の臨床経験23年、専門学校専任教員3年勤務した経験を持つ。  
(古地) 大学病院に12年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の各授業において具体的事例を用いるとともに看護の実践的課題にも言及する内容の講義を行う。  
(西山) 臨床10年、大学非常勤実習助手5年、専門学校専任教員7年、勤務した経験を持つ。

- 【到達目標】
1. 対象者を全人的に理解することができる。
  2. 対象者の全人的理解を基盤として科学的根拠に基づいた看護を安全に実践できる。
  3. チーム医療の実際を学び、チームメンバーの役割と連携について説明することができる。
  4. 看護を学ぶ学生として自らの課題を持ち、看護専門職として望ましい態度を身につけることができる。

| 回   | 授業項目            | 授業内容                        | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                       | 到達目標番号  | 担当教員           |
|-----|-----------------|-----------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------|
| 1   | ガイダンス<br>学修計画立案 | 実習施設ガイダンス<br>受け持ち患者情報に基づく学修 | 演習   | 予習：受け持ち患者の看護実践に必要な基礎的知識（人体のつくりとはたらき、疾病の理解等）（45分）<br>復習：受け持ち患者のに健康状態についての学修、行った看護の評価と翌日の看護計画立案（45分） | 1.2.3.4 | 古地<br>山本<br>西山 |
| 2～9 | 病棟実習            | 受け持ち患者に対する看護実践              | 演習   | 予習：実習記録の整理（45分）<br>復習：必要な知識の確認と翌日の看護計画立案（45分）                                                      | 1.2.3.4 | 古地<br>山本<br>西山 |
| 10  | 実習のまとめ          | 学びのまとめと今後の課題の明確化            | 自己学習 | 復習：実習記録の整理とレポート作成（90分）                                                                             | 1.2.3.4 | 古地<br>山本<br>西山 |

| 種別  | 書名                            | 著者・编者        | 出版社 |
|-----|-------------------------------|--------------|-----|
| 教科書 | 看護学テキスト「急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」     | 編集:林直子/佐藤まゆみ | 南江堂 |
| 教科書 | 看護学テキスト「急性期看護Ⅱ クリティカルケア」改定第4版 | 編集:林直子/佐藤まゆみ | 南江堂 |

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                  |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|----------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        |      |                         | 100%                 |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | 実習活動内容および実習記録・レポート評価 |

【課題に対するフィードバック方法】  
実習中に示す

| 氏名    | オフィスアワー          | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                 |
|-------|------------------|-------------------|--------------------------|
| 古地 順子 | 月～金曜日12：10～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（318） | kochi@nupals.ac.jp       |
| 山本 淳子 | 授業終了後            | 西新潟中央病院キャンパス（324） |                          |
| 西山 和代 | 授業終了後            | 西新潟中央病院キャンパス（211） | k-nishiyama@nupals.ac.jp |
| 橋本 有紀 | 8:30～17:00       | 西新潟中央病院キャンパス（214） | y-hashimoto@nupals.ac.jp |

|              |                                            |        |  |                   |  |     |
|--------------|--------------------------------------------|--------|--|-------------------|--|-----|
| 老年看護技術演習     |                                            | 授業担当教員 |  | 酒井 禎子・成澤 幸子・橋本 有紀 |  |     |
|              |                                            | 補助担当教員 |  |                   |  |     |
|              |                                            | 区分     |  | 専門教育必修科目          |  |     |
|              |                                            | 年次・学期  |  | 3年次 前期            |  | 単位数 |
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）       |        |  | 保健師課程             |  |     |
|              | ◎Ⅲ、○Ⅱ、Ⅳ/A-2,3,4,5,6、C-1,2,3、D-1-3),4),3-4) |        |  |                   |  |     |

【授業概要】

生活機能及び健康障がい有するあらゆる健康段階にある高齢者の特性に配慮し、高齢者の望む生活を重視しながらその持てる力を引き出し、予備力・残存能力を生かす生活支援技術について学修する。具体的にはグループで事例に適したアセスメント、およびケアプランの立案を行い、ロールプレイによって高齢者への看護技術を学び合う。また、技術演習を通し高齢者への理解と深い人間愛を育む。

【実務経験】

(酒井) 新潟市民病院の呼吸器・血液内科で看護師、新潟県立看護大学で成人看護学教育の経験有している。  
(成澤) 新潟大学医学総合病院の精神科、心臓血管外科、循環器・内分泌・血液内科、整形外科で看護師、新潟大学保健学研究科で成人看護学教育の経験有している。  
(橋本) 臨床経験 13 年、教育経験専門学校看護学科専任教員として 7 年「在宅看護論」の科目を講義する。

【到達目標】

- 1.高齢者の生活機能を整え、自立を支援する看護の知識と技術を習得する
- 2.高齢者の日常生活活動への支援技術（活動と休息、食事、排泄、清潔）を、根拠を踏まえて説明・実施できる。  
（活動と休息、食事、排泄、清潔を中心として）
- 3.認知症高齢者への生活リズム、レクリエーションの必要性について理解し、実践方法について説明できる。
- 4.高齢者事例を通して看護計画立案、実践、評価ができる。
- 5.高齢者の生活機能を整える支援技術の実践を通し、高齢者の理解を深め、深い人間愛を育むことができる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                         | 授業内容                                                    | 授業方式          | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                      | 到達目標番号  | 担当教員           |
|----|------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------|
| 1  | 高齢者と看護技術<br>高齢者の生活援助技術 1（食事） | 高齢者の自立と生活機能を援助する上での心構え・留意事項<br>高齢者の栄養に関するアセスメント及び食事への援助 | 講義            | 予習：高齢者のコミュニケーションの特徴と援助について「老年看護学実践論」の資料を復習する<br>教科書の該当部分（食事・栄養）を読む（30分）<br>復習：資料をもとに高齢者の日常生活を援助する上での留意点を整理する（60分） | 1.2.5   | 酒井<br>成澤<br>橋本 |
| 2  | 高齢者の生活援助技術 2（食事）             | 介助が必要な高齢者への食事への援助                                       | 演習            | 予習：教科書の該当部分（食事・栄養）を読む（30分）<br>復習：演習での学びを記述し提出する（60分）                                                              | 1.2.5   | 酒井<br>成澤<br>橋本 |
| 3  | 高齢者の生活援助技術 3（食事）             | 嚥下障害のある高齢者への援助                                          | 演習            | 予習：教科書の該当部分（食事・食生活、摂食嚥下障害）を読む（30分）<br>復習：演習での学びを記述し提出する（60分）                                                      | 1.2.5   | 酒井<br>太田<br>他  |
| 4  | 高齢者の生活援助技術4（清潔）              | 高齢者の口腔ケア                                                | 演習            | 予習：教科書の該当部分（口腔の清潔）を読む（30分）（30分）<br>復習：演習での学びを記述し提出する（60分）                                                         | 1.2.5   | 酒井<br>計良<br>他  |
| 5  | 高齢者の生活援助技術5（清潔）              | 高齢者の皮膚の特徴とスキンケア                                         | 演習            | 予習：教科書の該当部分（清潔、掻痒）を読む（30分）<br>復習：演習での学びを記述し提出する（60分）                                                              | 1.2.5   | 酒井<br>森川<br>他  |
| 6  | 高齢者の生活援助技術6（活動・休息）（排泄）       | 高齢者の生活リズムと活動・休息<br>高齢者の排泄の特徴と看護                         | 講義            | 予習：教科書の該当部分（活動・休息、排泄）を読む（30分）<br>復習：資料をもとに高齢者の活動や排泄の援助のポイントを整理する（60分）                                             | 1.2.5   | 酒井<br>成澤<br>橋本 |
| 7  | 高齢者の生活援助技術7（活動・排泄・清潔）        | 認知症高齢者の排泄・清潔・移動への援助（援助計画立案）                             | 演習・グループワーク    | 予習：事例への援助計画（手順書）を作成する（60分）<br>復習：グループワークでの学びをふまえて、手順書の修正加筆を行い提出する（30分）                                            | 1.2.5   | 酒井<br>成澤<br>橋本 |
| 8  | 高齢者の生活援助技術8（活動・排泄・清潔）        | 認知症高齢者の排泄・清潔・移動への援助（援助計画立案/発表）                          | 演習・発表・グループワーク | 予習：事例への援助計画（手順書）を作成する（60分）<br>復習：グループワークでの学びをふまえて、手順書の修正加筆を行い提出する（30分）                                            | 1.2.5   | 酒井<br>成澤<br>橋本 |
| 9  | 高齢者の生活援助技術9（認知症高齢者と代替療法）     | 認知症高齢者への看護の実践<br>生活リズムを整える、代替療法としてのレクリエーションの意義と方法       | 講義            | 予習：教科書の認知症高齢者の生活リズムの特徴について読んでおく（30分）<br>復習：レクリエーションとその方法について調べておく（40分）                                            | 1.3.5   | 橋本<br>成澤<br>酒井 |
| 10 | 高齢者の生活援助技術10（レクリエーション）       | レクリエーションの企画                                             | 演習            | 予習：有効と思われるレクリエーションを選択しておく（30分）<br>復習：ミニ事例に適したレクリエーション企画が見直し、具体的方法、必要物品等を考えておく（40分）                                | 1.3.5   | 橋本<br>成澤<br>酒井 |
| 11 | 高齢者の生活援助技術11（レクリエーション）       | レクリエーションの実践（グループ間で実践）                                   | 演習            | 予習：グループで選択したレクリエーションの方法を整理しておく（30分）<br>復習：レクリエーションの実施・評価をし、一連の過程を記録、次回演習時に提出する（40分）                               | 1.3.5   | 橋本<br>成澤<br>酒井 |
| 12 | 老年看護における看護過程5                | 看護問題・課題、目標の修正、支援計画立案                                    | 講義・演習         | 予習：看護課題・看護目標から看護計画を考えておく（40分）<br>復習：支援計画を完成させておく                                                                  | 1.4.5   | 成澤<br>酒井<br>橋本 |
| 13 | 老年看護における看護過程6                | 評価方法<br>支援計画を一部実践<br>実践を評価し、修正の方向性を明らかにする               | 講義・演習         | 予習：評価方法について調べておく。また、実践する支援の方法、必要物品等、整理しておく。<br>復習：支援の評価に基づき、他の支援について修正する。                                         | 1.4.5   | 成澤<br>酒井<br>橋本 |
| 14 | 老年看護における看護過程7                | 看護計画の発表<br>看護過程記録の提出                                    | 発表            | 予習：グループ発表の準備をするとともに、自己の記録をまとめ、提出できるようにする。（50分）<br>復習：看護過程及び看護支援技術での学びを整理する。（30分）                                  | 1.4.5   | 成澤<br>酒井<br>橋本 |
| 15 | 高齢者の生活援助技術まとめ                | 実施した高齢者への支援技術の評価<br>自己の課題の明確化                           | 講義            | 予習：これまでの演習から自分の考えをまとめておく。（30分）<br>復習：他者の意見を聞き、さらに自分の考えを記述する（60分）                                                  | 1.2.3.5 | 酒井<br>成澤<br>橋本 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                        | 著者・編者            | 出版社        |
|-----|---------------------------|------------------|------------|
| 教科書 | 老年看護学②ナーシンググラフィカ高齢者看護の実践  | 堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子編 | 株式会社メディカ出版 |
| 教科書 | 系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学        | 北川公子他著           | 医学書院       |
| 参考書 | 老年看護学①ナーシンググラフィカ高齢者の健康と障害 | 堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子編 | 株式会社メディカ出版 |
| 参考書 | 系統看護学講座専門分野 老年看護 病態・疾患論   | 鳥羽研二             | 医学書院       |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        | 100% |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                  |
|-------|----------------|-------------------|---------------------------|
| 酒井 禎子 | 平日:17:00～18:00 | 西新潟中央病院キャンパス（315） | yoshikosakai@nupals.ac.jp |
| 成澤 幸子 | 平日：17:00～19:00 | 西新潟中央病院キャンパス（311） | narisawa@nupals.ac.jp     |
| 橋本 有紀 | 平日：8:30～17:00  | 西新潟中央病院キャンパス（214） | y-hashimoto@nupals.ac.jp  |



|          |  |        |  |                     |         |
|----------|--|--------|--|---------------------|---------|
| 小児看護技術演習 |  | 授業担当教員 |  | 坪川 麻樹子・中垣 紀子・五十嵐 真理 |         |
|          |  | 補助担当教員 |  |                     |         |
|          |  | 区分     |  | 専門教育必修科目            |         |
|          |  | 年次・学期  |  | 3年次 前期              | 単位数 1単位 |

|              |                                      |       |  |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |  |
|              | ◎Ⅰ、Ⅲ ○Ⅱ、Ⅳ/ A-1, 2, 3, C, D           |       |  |  |  |

【授業概要】

健康課題・障害及び入院が、小児と家族に及ぼす身体的・心理的・社会的影響を理解する。また、発達段階により小児が陥りやすい健康課題（症状）・障害の経過の特徴を踏まえたアセスメントの視点、発達段階に応じた看護方法、診療に伴う援助技術をグループ学習等を通して学ぶ。

【実務経験】

（坪川）小児専門病院で3年間、混合病棟で7年間、小児看護に携わっていた。その実務経験をもとに、本科目の講義を行う。  
（中垣）小児専門病院で27年間、小児看護に携わっていた。この実務経験をもとに、本科目の講義を行う。  
（五十嵐）混合病棟ならびに救急部・集中治療部に入室する子どもと家族の看護に10年間携わる。看護基礎教育において小児看護の教育に携わった経験は20年。

【到達目標】

1. 小児の各発達段階にみられる日常的な健康問題と看護を理解する。
2. 入院生活をしている子どもへのケアの基本となる援助的アプローチが理解できる。
3. 小児各期の特徴を踏まえたフィジカルアセスメントの技術について学習する。
4. 小児期に特徴的な診療（治療・処置・検査・診察）上の看護援助を理解する。
5. 子どもの健康課題が、成長発達や生活に与える影響を理解する。
6. 健康課題を持つ子どもの看護について、保健医療・福祉支援機関をふまえて学習し、小児看護のあり方を考察する。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                 | 授業内容                                              | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                                                   | 到達目標番号  | 担当教員            |
|----|----------------------|---------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------|---------|-----------------|
| 1  | 子どもへの援助<br>関係形成と環境調整 | 子どもの状況に特徴づけられる看護<br>子どもとのコミュニケーション                | 講義    | 予習：教科書「子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護」「子どものアセスメント」を読んでおくこと<br>復習：授業の復習   | 1、2、5   | 坪川              |
| 2  | 子どもへの日常生活援助技術        | 病気・障害が子どもと家族に与える影響<br>子どもに必要な日常生活援助（清潔、栄養、排泄への援助） | 講義    | 予習：教科書「病気・障害を持つ子どもと家族の看護」「検査・処置を受ける子どもの看護」を読んでおくこと<br>復習：授業の復習 | 1、2、4、5 | 坪川              |
| 3  | 子どものフィジカルアセスメント①     | 子どものバイタルサイン測定、身体測定と<br>フィジカルアセスメント                | 講義    | 予習：教科書「子どものアセスメント」を読んでおくこと<br>復習：授業の復習                         | 1、2、3、5 | 坪川              |
| 4  | 子どものフィジカルアセスメント②     | 子どものバイタルサイン測定、身体測定の実際                             | 演習    | 予習：教科書「子どものアセスメント」を読んでおくこと<br>復習：授業の復習                         | 1、2、3、5 | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 5  | 子どもの診療に伴う援助技術        | 子どもの与薬、輸液管理、抑制、検体採取                               | 講義    | 予習：教科書「検査・処置を受ける子どもの看護」を読んでおくこと<br>復習：授業の復習                    | 1、2、4、5 | 坪川              |
| 6  | 入院している子どもへの援助①       | 気管支喘息で入院した子どもと家族への看護（シミュレーション）                    | 講義・演習 | 予習：小児の疾病と治療、小児看護学実践論の資料の復習をしておくこと<br>復習：シミュレーションの復習            | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 7  | 入院している子どもへの援助②       | 気管支喘息で入院した子どもと家族への看護（シミュレーション）                    | 演習    | 予習：小児の疾病と治療、小児看護学実践論の復習をしておくこと<br>復習：シミュレーションの復習               | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 8  | 入院している子どもへの援助③       | 重症心身障害児の子どもへの看護（シミュレーション）                         | 演習    | 予習：小児の疾病と治療、小児看護学実践論の資料を復習しておくこと<br>復習：シミュレーションの復習             | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 9  | 入院している子どもへの援助④       | 重症心身障害児の子どもへの看護（シミュレーション）                         | 演習    | 予習：小児の疾病と治療、小児看護学実践論の資料を復習しておくこと<br>復習：シミュレーションの復習             | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 10 | 入院している子どもへの援助⑤       | 子どもの安全な入院環境                                       | 演習    | 予習：「子どもの日常生活援助技術」の資料を復習しておくこと<br>復習：授業の復習                      | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 11 | 看護過程の展開①             | 看護過程の展開方法<br>気管支喘息で入院した子どもと家族の看護過程の展開             | 講義・演習 | 予習：事例の予習<br>復習：グループワークの整理                                      | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 12 | 看護過程の展開②             | 気管支喘息で入院した子どもと家族の看護過程の展開                          | 演習    | 予習：前回のグループワークで不足しているところを予習しておく<br>復習：グループワークのまとめ               | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 13 | 看護過程の展開③             | 重症心身障害児の看護過程の展開                                   | 演習    | 予習：事例の予習<br>復習：グループワークの復習                                      | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 14 | 看護過程の展開④             | 重症心身障害児の看護過程の展開                                   | 演習    | 予習：前回のグループワークで不足しているところを学習しておく<br>復習：グループワークのまとめ               | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |
| 15 | 子どもの救急蘇生             | 新生児・小児の救急蘇生法の実際                                   | 講義・演習 | 予習：概論「検査・処置を受ける子どもの看護」を読んでおくこと<br>復習：授業の復習                     | 1～6     | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                   | 著者・編者 | 出版社       |
|-----|----------------------|-------|-----------|
| 教科書 | 小児看護学概論小児臨床看護総論      | 奈良間美保 | 医学書院      |
| 参考書 | 根拠と事故防止から見た小児看護技術    |       | 医学書院      |
| 参考書 | 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術 |       | メヂカルフレンド社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                               |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----------------------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        |      |                         | 100%                              |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | シミュレーションへの取り組みと、看護過程の課題提出をもって評価する |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                |
|--------|----------------|-------------------|-------------------------|
| 坪川 麻樹子 | 水曜日13:00～17:00 | 西新潟中央病院キャンパス（320） | tsubokawa@nupals.ac.jp  |
| 中垣 紀子  | 水曜日13時～17時     | 西新潟中央病院キャンパス（321） | nakagaki@nupals.ac.jp   |
| 五十嵐 真理 | 授業終了後          | 西新潟中央病院キャンパス（324） | m-ikarashi@nupals.ac.jp |

|              |                                      |        |       |                     |     |     |
|--------------|--------------------------------------|--------|-------|---------------------|-----|-----|
| 小児看護学実習      |                                      | 授業担当教員 |       | 坪川 麻樹子・中垣 紀子・五十嵐 真理 |     |     |
|              |                                      | 補助担当教員 |       |                     |     |     |
|              |                                      | 区分     |       | 専門教育必修科目            |     |     |
|              |                                      | 年次・学期  |       | 3年次 後期～4年次 前期       | 単位数 | 2単位 |
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） |        | 保健師課程 |                     |     |     |
|              | ◎Ⅰ、Ⅲ   ○Ⅱ、Ⅳ/   A-1、2、3、C、D、F         |        |       |                     |     |     |

【授業概要】  
子どもとその家族の環境や個性を理解し、子どもの発達段階の特徴や健康レベルに応じた小児看護学の基礎的实践に必要な知識・技術・態度を習得する。  
また、子どもや家族の権利を擁護し、倫理的に配慮をした援助や小児医療福祉の連携について考察する。

【実務経験】  
(坪川) 小児専門病院で3年間、混合病棟で7年間、小児看護に携わっていた。その実務経験をもとに、本科目の講義を行う。  
(中垣) 小児専門病院で27年間、小児看護に携わっていた。この実務経験をもとに、本科目の講義を行う。  
(五十嵐) 混合病棟ならびに救急部・集中治療部に入室する子どもと家族の看護に10年間携わる。看護基礎教育において小児看護の教育に携わった経験は20年。

- 【到達目標】
1. 子どもの成長発達や健康レベルを理解し、個々に応じた援助的な人間関係の形成について説明できる。
  2. 子どもの成長発達や健康維持・増進、健康障害に応じた安全な生活や環境について説明できる。
  3. 子どもの成長発達や健康課題などから、情報収集、アセスメントをし、看護問題を抽出することができる。
  4. 子どもや家族の状態に応じて、権利を擁護した援助について説明できる。
  5. 子どもにとっての遊びや家族の重要性を理解し、援助の工夫について説明できる。
  6. 小児保健医療福祉の連携の在り方や、看護職の役割について考察できる。

| 回    | 授業項目                                                 | 授業内容                                                                    | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                              | 到達目標番号    | 担当教員            |
|------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------|-----------|-----------------|
| 1~10 | 病気や障害を持つ子どもと家族の支援の理解<br>子どもの日常生活行動や心理的<br>反応とその支援の理解 | 【保育園】1歳～5歳までの健康な子どもの日常生活行動と支援を観察・一部実施する。<br>【病院】入院する子どもを受け持ち、看護過程の展開する。 | 実習   | 予習：実習要項で示す事前学習および、実習の進捗とともに必要となった追加学習を行う。 | 1.2.3.4.5 | 坪川<br>中垣<br>五十嵐 |

| 種別  | 書名              | 著者・編者 | 出版社  |
|-----|-----------------|-------|------|
| 教科書 | 小児看護学概論小児臨床看護総論 | 奈良間美保 | 医学書院 |

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                     |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-------------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        |      |                         | 100%                    |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | 事前学習、実習記録、実習態度を通して評価する。 |

【課題に対するフィードバック方法】

| 氏名     | オフィスアワー        | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス                |
|--------|----------------|-------------------|-------------------------|
| 坪川 麻樹子 | 水曜日13:00～17:00 | 西新潟中央病院キャンパス（320） | tsubokawa@nupals.ac.jp  |
| 中垣 紀子  | 水曜日13時～17時     | 西新潟中央病院キャンパス（321） | nakagaki@nupals.ac.jp   |
| 五十嵐 真理 | 授業終了後          | 西新潟中央病院キャンパス（324） | m-ikarashi@nupals.ac.jp |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------|
| 母性看護技術演習<br>Practice of Maternal Nursing Skills                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    | 授業担当教員                                                                                                            |                  | 諸橋 麻紀・巳亦 圭子・ブロード 裕子・定方 美恵子                                                                            |           |                        |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    | 補助担当教員                                                                                                            |                  |                                                                                                       |           |                        |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    | 区分                                                                                                                |                  | 専門教育必修科目                                                                                              |           |                        |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    | 年次・学期                                                                                                             |                  | 3年次 前期                                                                                                |           | 単位数                    |
| 看護学部<br>看護学科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                    | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）                                                                              |                  | 保健師課程                                                                                                 |           |                        |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    | ◎Ⅲ、○Ⅱ、Ⅳ / D-3-1                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 【授業概要】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 妊娠分娩産褥各期にある女性と新生児の看護を実践するために、母性看護に特有な看護技術を習得し、健康問題を分析し解決に導く思考過程を修得する。<br>母子の援助に必要なとされる基本的看護技術の目的、適応、方法を理解し、演習を通して対象に応じた技術を実践する能力を修得する。                                                                                                                                                                                                                        |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 【実務経験】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| （諸橋）勤務助産師32年、開業助産師28年の実務経験及び、大学教員 5 年の看護教育経験を持つ教員が、この経験を生かして、本科目「母性看護技術演習」の講義を行う。<br>（巳亦）病院での臨床経験30余年、大学・専門学校で助産師非常勤講師と、専門学校の専任教員経験8年の教育経験を持つ。この経験を活かして本科目「母性看護技術演習」の講義を行う。<br>（ブロード）病院・クリニック・助産院で24年の実務経験、専門学校の専任教員5年の教育経験を持つ。この経験を活かして本科目「母性看護技術演習」の講義を行う。<br>（定方）病院で6年間の実務経験、40年間短大・大学での看護教育経験をもつとともに、この間医療機関で実習指導を行った経験を持つ。この経験を生かして、本科目「母性看護技術演習」の講義を行う。 |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 【到達目標】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 1. ウエルネス志向の看護過程展開技術を理解できる<br>2. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の健康状態を正しく把握するための観察技術を習得する<br>3. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の健康状態を評価するための情報を収集し、統合できる<br>4. 母子の健康状態をウエルネス志向でアセスメントすることができる<br>5. 母子の健康状態を促進させる為の看護支援ならびに母子やその家族の子育てへの移行を支援するケア技術を習得できる                                                                                                                        |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 【授業計画】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 授業項目                               | 授業内容                                                                                                              | 授業方式             | 授業外学習（予習・復習）                                                                                          | 到達目標番号    | 担当教員                   |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 母性看護学における看護過程展開技術（ウエルネス志向）         | 1.オリエンテーション<br>2.母性看護学における看護過程展開技術(ウエルネス志向)<br>3.事例紹介<br>4.アセスメントに必要な情報収集<br>5.情報整理<br>6.演習技術要項、グループ分け、TBLの進め方の説明 | 講義・演習            | 予習：既習の「母性看護学概論」「女性の疾病と治療」「母性看護学実践論」の知識を確認し、問題思考型とウエルネス志向の違いを調べて臨む。<br>復習：周産期の正常な経過におけるウエルネス志向の理解を深める。 | 1         | 定方<br>諸橋<br>巳亦<br>ブロード |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 妊娠経過の看護過程の展開                       | 1.妊娠期情報の整理・統合<br>2.胎児の健康状態のアセスメント                                                                                 | 講義・演習            | 予習：使用テキストで妊娠期の身体的変化・胎児の発育について課題シートに記載して持参する。<br>復習：妊娠期の情報を統合し、分娩期への影響をアセスメントする                        | 1・4       | 諸橋<br>定方<br>巳亦<br>ブロード |
| 3~4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 妊娠期の看護技術                           | 1.妊婦体験<br>2.妊婦健診（検尿・体重・血圧測定）<br>3.腹囲・子宮底長測定<br>4.レオポルド触診法・超音波ドップラ法<br>5.NSTの実施と評価<br>6.診察時の配慮                     | 演習               | 予習：使用テキストで授業内容の予習をし、指定された動画を視聴し、事前課題をまとめておく<br>復習：不足している技術を補うために、テキストや動画を使用し復習する                      | 2・3・5     | 諸橋<br>巳亦<br>ブロード<br>定方 |
| 5~6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 分娩期の看護技術                           | 1.分娩期ポジショニング・呼吸法・リラクゼーション法<br>2.CTG胎児健康状態の観察・分娩経過<br>3.新生児出生準備（蘇生準備含む）・アプガースコアの判定・帝王切開                            | 演習               | 予習：使用テキストで授業内容の予習をし、指定された動画を視聴し、事前課題をまとめておく<br>復習：不足している技術を補うために、テキストや動画を使用し復習する                      | 2・3・5     | 諸橋<br>巳亦<br>ブロード<br>定方 |
| 7~8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 産褥期の看護過程の展開                        | 1.産褥期情報の整理・統合<br>2.褥婦の健康状態のアセスメント                                                                                 | 講義・演習            | 予習：使用テキストで産褥期の身体的変化について課題シートに記載し持参する。<br>復習：産褥期をアセスメントし必要な支援との関連を確認する。                                | 1・4       | 定方<br>諸橋<br>巳亦<br>ブロード |
| 9~10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 産褥期の看護技術                           | 1.子宮復古・悪露・外陰部の観察<br>2.母乳育児支援<br>3.退院に向けた看護（一か月健診・エジンバラ産後うつ病自己評価表・社会資源の活用・家族支援）                                    | 演習               | 予習：使用テキストで授業内容の予習をし、指定された動画を視聴し、事前課題をまとめておく<br>復習：不足している技術を補うために、テキストや動画を使用し復習する                      | 2・3・5     | 諸橋<br>巳亦<br>ブロード<br>定方 |
| 11~12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 新生児の看護過程                           | 1.新生児期情報の整理・統合<br>2.新生児の健康状態のアセスメント                                                                               | 講義・演習            | 予習：使用テキストで新生児期の身体的特徴について課題シートに記載し持参する。<br>復習：新生児期のアセスメントをし必要な支援との関連を確認する。                             | 1・4       | 定方<br>諸橋<br>巳亦<br>ブロード |
| 13~14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 新生児の看護技術                           | 1.新生児の特徴（抱っこ・おむつ交換・更衣）<br>2.新生児の観察（バイタルサインズ・黄疸の観察）<br>3.沐浴                                                        | 演習               | 予習：使用テキストで授業内容の予習をし、指定された動画を視聴し、事前課題をまとめておく<br>復習：不足している技術を補うために、テキストや動画を使用し復習する                      | 2・3・5     | 諸橋<br>巳亦<br>ブロード<br>定方 |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 看護過程発表会                            | 1.看護過程発表会<br>・妊娠期/産褥期/新生児期の看護過程をグループ発表<br>・発表に関する意見交換/質疑応答<br>2.まとめ                                               | 発表・まとめ           | 予習：周産各期の母子の情報を統合し、アセスメントしまとめておく。<br>復習：他グループ発表からの学びを整理しておく。                                           | 1・2・3・4・5 | 諸橋<br>巳亦<br>ブロード<br>定方 |
| 【教科書・参考書】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                    |                                                                                                                   |                  |                                                                                                       |           |                        |
| 種別                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 書名                                 |                                                                                                                   | 著者・編者            | 出版社                                                                                                   |           |                        |
| 教科書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ナーシング・グラフィカ母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護 |                                                                                                                   | 小林康江中込さと子荒木奈緒：編者 | 株式会社メディカ出版                                                                                            |           |                        |
| 教科書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践           |                                                                                                                   | 小林康江中込さと子荒木奈緒：編者 | 株式会社メディカ出版                                                                                            |           |                        |
| 教科書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術            |                                                                                                                   | 荒木奈緒小林康江中込さと子：編者 | 株式会社メディカ出版                                                                                            |           |                        |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション<br>試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート                    | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                   |
|------|------|------|----------------|------|--------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 割合   | 40%  |      |                |      |        | 30%                     |                         | 30%                   |
| 備考   |      |      |                |      |        | 看護過程のレポートを総合<br>して評価する。 |                         | 演習でのTBLを総合し<br>て評価する。 |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名      | オフィスアワー     | 研究室（部屋番号）             | Eメールアドレス               |
|---------|-------------|-----------------------|------------------------|
| 諸橋 麻紀   | 水曜日 13時～15時 | 西新潟中央病院キャンパス（214）     | morohashi@nupals.ac.jp |
| 巳亦 圭子   | 水曜日 13時～15時 | 西新潟中央病院キャンパス（211）     | k-mimata@nupals.ac.jp  |
| ブロード 裕子 | 水曜日 13時～15時 | 西新潟中央病院キャンパス（324）     | h-broad@nupals.ac.jp   |
| 定方 美恵子  | 水曜日 13時～15時 | 西新潟中央病院キャンパス（108学部長室） | sadakata@nupals.ac.jp  |

|                                                   |                                                                    |        |       |                            |            |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------|-------|----------------------------|------------|
| 母性看護学実習<br>Clinical Practices in Maternal Nursing |                                                                    | 授業担当教員 |       | 定方 美恵子・巳亦 圭子・諸橋 麻紀・ブロード 裕子 |            |
|                                                   |                                                                    | 補助担当教員 |       |                            |            |
|                                                   |                                                                    | 区分     |       | 専門教育必修科目                   |            |
|                                                   |                                                                    | 年次・学期  |       | 3年次 後期～4年次 前期              | 単位数<br>2単位 |
| 看護学部<br>看護学科                                      | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）                               |        | 保健師課程 |                            |            |
|                                                   | ◎Ⅰ、Ⅲ、○Ⅱ、Ⅳ/ A-1,2,3,4,5,7,8、B-2,3,C-1,2,3,4、D-1,2,3,5,6、E-1,2、F-1,2 |        |       |                            |            |

【授業概要】

医療機関および子育て支援施設を学習の場とし、母子および家族のケアニーズや健康課題を把握し、看護過程を展開するための基礎的能力を身につける。そして、さまざまなライフステージにある女性に身近な医療とは、赤ちゃんとおかあさんにとってやさしい病院とは、子育てが楽しい社会とはどうあるべきかを広い視野から考え、保健医療チームにおける母性看護の役割と機能、看護実践における専門職の責務を考察し、温かく共感的な態度と倫理的感性を養う。

【実務経験】

（定方）病院で6年間の実務経験、短大・大学で40年間母性看護学の教育を担当し、この間保健医療機関で実習指導を行った経験を持つ。この経験を生かして本科目「母性看護学実習」を担当する。  
（ブロード）病院・クリニック・助産院で24年の実務経験、専門学校の専任教員5年の教育経験を持つ。この経験を活かして本科目「母性看護学実習」を担当する。  
（巳亦）病院での臨床経験30余年、大学・専門学校で助産師非常勤講師と、専門学校の専任教員経験8年の教育経験を持つ。この経験を活かして本科目「母性看護実習」を担当する。  
（諸橋）勤務助産師32年、開業助産師28年の実務経験及び、大学教員5年の看護教育経験を持つ教員が、この経験を生かして、本科目「母性看護学実習」を担当する。

【到達目標】

周産期実習

1. 周産期にある母子とその家族の身体・心理・社会的特性を踏まえ、必要な情報を収集できる
2. 妊娠期・産褥期・新生児期の健康課題、基本的ニーズを看護実践を通してアセスメントできる
3. 妊娠期・産褥期・新生児期に必要な看護を選択できる
4. 地域看護に繋がる包括的な看護実践を展開するために、ウェルネス志向の視点からよりよい保健医療サービスのあり方を提案できる

子育て期実習

1. 子育て支援センターの実習を通して、女性と子どもの健康に関わる保健医療チームのあり方をアセスメントできる
  2. 女性と子どもと家族との関わりを通して、子育て期に関わる関係職種のアプローチと倫理的視点を養う
  3. 育児を継続して支援するための社会資源を理解し、その活用を実践の中で理解できる
- 実習全体を通して、グループメンバーと協働し、学修を効果的に進めることができる。

【授業計画】

| 回 | 授業項目                      | 授業内容                                                                                                           | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                              | 到達目標番号                     | 担当教員                   |
|---|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------|
| 1 | オリエンテーション・事前学習・技術の確認      | 実習の概要及び実習の進め方、実習のマナーを再確認する。また、実習施設の概要、交通手段、場所を確認する。母性看護学技術演習で学んだ知識と技術を復習し再確認する。                                | 実習   | 予習：既習の「母性看護学概論」「女性の疾患と治療」「母性看護学実践論」「母性看護技術演習」の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：必要に応じて、追加学習を行う。（60分）   | 周産期実習 1、子育て期実習1            | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 2 | Aチーム：周産期実習<br>Bチーム：子育て期実習 | <b>Aチーム：周産期実習</b> ；病棟オリエンテーション、対象者のケアの見学・一部実践、看護過程の展開、カンファレンス<br><b>Bチーム：子育て期実習</b> ；施設オリエンテーション、見学・一部実践、テーマ学習 | 実習   | 予習：既習の講義科目の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：実習でわからなかったことを調べる。翌日の実習に向けて追加学習を行う。（45分）                   | 周産期実習 1.2.、子育て期実習 1.2.     | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 3 | Aチーム：周産期実習<br>Bチーム：子育て期実習 | <b>Aチーム：周産期実習</b> ；対象者のケアの見学・一部実践、看護過程の展開、カンファレンス<br><b>Bチーム：子育て期実習</b> ；見学・一部実践、テーマ学習                         | 実習   | 予習：既習の講義科目の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：実習で分らなかったことを調べる。翌日の実習に向けて追加学習を行う。（60分）                    | 周産期実習 1.2.3、子育て期実習 1.2.    | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 4 | Aチーム：周産期実習<br>Bチーム：子育て期実習 | <b>Aチーム：周産期実習</b> ；対象者のケアの見学・一部実践、看護過程の展開、医療機関の指導者との最終カンファレンス<br><b>Bチーム：子育て期実習</b> ；見学・一部実践、テーマ学習             | 実習   | 予習：既習の講義科目の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：実習で分らなかったことを調べる。翌日の学習体験の共有をするために追加学習を行う。共有する体験を整理する。（60分） | 周産期実習 1.2.3.4、子育て期実習 1.2.3 | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 5 | 実習体験の共有                   | ○実習体験についてポイントをまとめ、チーム内で学びを共有する。<br>○ディスカッションやフィードバックを通じて多角的な視点から学びを深める。                                        | 実習   | 予習：共有したい体験を伝えられるように準備する。（60分）<br>復習：グループメンバーの報告を通して学んだことをまとめる。（30分）                                                       | 周産期実習 1.2.3.4、子育て期実習 1.2.3 | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 6 | Aチーム：子育て期実習<br>Bチーム：周産期実習 | <b>Aチーム：子育て期実習</b> ；施設オリエンテーション、見学・一部実践、テーマ学習<br><b>Bチーム：周産期実習</b> ；病棟オリエンテーション、対象者のケアの見学・一部実践、看護過程の展開、カンファレンス | 実習   | 予習：既習の講義科目の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：実習でわからなかったことを調べる。翌日の実習に向けて追加学習を行う。（45分）                   | 周産期実習 1.2.、子育て期実習 1.2.     | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 7 | Aチーム：子育て期実習<br>Bチーム：周産期実習 | <b>Aチーム：子育て期実習</b> ；見学・一部実践、テーマ学習<br><b>Bチーム：周産期実習</b> ；対象者のケアの見学・一部実践、看護過程の展開、カンファレンス                         | 実習   | 予習：既習の講義科目の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：実習で分らなかったことを調べる。翌日の実習に向けて追加学習を行う。（60分）                    | 周産期実習 1.2.3、子育て期実習 1.2.    | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 8 | Aチーム：子育て期実習<br>Bチーム：周産期実習 | <b>Aチーム：周産期実習</b> ；対象者のケアの見学・一部実践、看護過程の展開、医療機関の指導者との最終カンファレンス<br><b>Bチーム：子育て期実習</b> ；見学・一部実践、テーマ学習             | 実習   | 予習：既習の講義科目の学習内容を復習して臨む。<br>実習計画（記録1）に実習目標と実習内容を記載する。（45分）<br>復習：実習で分らなかったことを調べる。翌日の学習体験の共有をするために追加学習を行う。共有する体験を整理する。（60分） | 周産期実習 1.2.3.4、子育て期実習 1.2.3 | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |
| 9 | 実習体験の共有                   | ○実習体験についてポイントをまとめ、チーム内で学びを共有する。<br>○ディスカッションやフィードバックを通じて多角的な視点から学びを深める。                                        | 実習   | 予習：共有したい体験を伝えられるように準備する。（60分）<br>復習：グループメンバーの報告を通して学んだことをまとめる。（30分）                                                       | 周産期実習 1.2.3.4、子育て期実習 1.2.3 | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |

| 回  | 授業項目        | 授業内容                                                       | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                                                 | 到達目標番号                        | 担当教員                   |
|----|-------------|------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 10 | 学習発表会・実習まとめ | 1. 周産期ケース発表と意見交換<br>2. 子育て期テーマ発表と意見交換<br>3. 母性看護学実習の学びとまとめ | 実習   | 予習：ケース発表、テーマ発表、実習全体の学びについて報告でき、意見交換できるよう準備する。(60分)<br>復習：グループメンバーの報告を通して学んだことをまとめるとともに加筆し、実習全体の学びを考察する。(60分) | 周産期実習：1.2.3.4<br>子育て期実習：1.2.3 | 定方<br>巳亦<br>諸橋<br>ブロード |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                   | 著者・編者             | 出版社    |
|-----|--------------------------------------|-------------------|--------|
| 教科書 | ナーシング・グラフィカ「母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護」 | 中込さと子、小林康江、荒木奈緒編集 | メディカ出版 |
| 教科書 | ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践             | 中込さと子、小林康江、荒木奈緒編集 | メディカ出版 |
| 教科書 | ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術              | 荒木奈緒、小林康江、中込さと子編集 | メディカ出版 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                                                     |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|---------------------------------------------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        |      |                         | 100%                                                    |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         | 周産期実習(60%)、子育て期実習(40%)とし、出席・学習状況、実習記録、学習態度を総合的に判断し評価する。 |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名      | オフィスアワー | 研究室（部屋番号）             | Eメールアドレス               |
|---------|---------|-----------------------|------------------------|
| 定方 美恵子  | 実習終了後   | 西新潟中央病院キャンパス（108学部長室） | sadakata@nupals.ac.jp  |
| 巳亦 圭子   | 実習終了後   | 西新潟中央病院キャンパス（211）     | k-mimata@nupals.ac.jp  |
| 諸橋 麻紀   | 実習終了後   | 西新潟中央病院キャンパス（214）     | morohashi@nupals.ac.jp |
| ブロード 裕子 | 実習終了後   | 西新潟中央病院キャンパス（324）     | h-broad@nupals.ac.jp   |

【その他】

母性看護学の講義・演習で使った教科書と授業プリントを手元に置き、予習と復習をしてください。

|          |        |  |              |         |
|----------|--------|--|--------------|---------|
| 精神看護技術演習 | 授業担当教員 |  | 日下 修一・清野 由美子 |         |
|          | 補助担当教員 |  |              |         |
|          | 区分     |  | 専門教育必修科目     |         |
|          | 年次・学期  |  | 3年次 前期       | 単位数 1単位 |

|              |                                             |  |       |  |
|--------------|---------------------------------------------|--|-------|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）        |  | 保健師課程 |  |
|              | ◎Ⅱ、○Ⅲ、○Ⅳ／A-2、A-4、A-5A-6、C-1、C-5、D-1、D-2、D-5 |  |       |  |

【授業概要】

こころの健康を増進し、精神に問題を抱える人々の社会復帰を促進する看護の具体的な方法について演習を行い,次の7つの内容を教授し、精神看護学実習につなげる内容を教授する。

①主な精神疾患・障害と治療、問題行動の特徴と対処方法、②精神障害者に関するアセスメントと看護過程、③急性期の精神看護と行動制限（安全な抑制演習を含む）、④慢性期の精神看護、社会復帰へのアプローチと社会資源の活用、⑤精神科における医療安全（包括的暴力対策プログラムを含む）、⑥精神障害者への生活支援技術（入院・施設・地域での看護介入）、⑦精神障害者とのコミュニケーション技術、看護カウンセリング

【実務経験】

（日下）は精神科病院で8年の実務経験を持ち、看護部長としての実務経験もある。

（清野）は精神科病院での1年の実務経験を持ち、一般科での実務経験が長い。

【到達目標】

①統合失調症、気分障害、気分障害、依存症、認知症、知的障害、発達障害の治療、問題行動の特徴と対処方法が理解できる。

②精神障害者に関するアセスメントと看護過程が理解できる。

③急性期の精神看護と行動制限の方法を理解できる。

④慢性期の精神看護、社会復帰へのアプローチの方法を理解し、社会資源の活用が理解できる。

⑤精神科における医療安全、包括的暴力対策プログラムの基礎について理解できる。

⑥精神障害者への生活支援技術（入院・施設・地域での看護介入）を理解できる。

⑦精神障害者とのコミュニケーション技術、看護カウンセリングの基本を理解できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目                             | 授業内容                                                                               | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号  | 担当教員     |
|----|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------|---------|----------|
| 1  | 精神障害者への生活支援技術（入院・施設・地域での看護介入）(1) | 1.活動と休息、2.食事と栄養、3.排泄、4.清潔、5.整容、6.私物と金銭管理、7.身の回りの整理などに関する考え方と援助に関する具体的な技術について演習を行う。 | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②      | 日下<br>清野 |
| 2  | 精神障害者への生活支援技術（入院・施設・地域での看護介入）(2) | 精神障害者の生活支援技術として、精神療法、芸術療法、生活療法、SST等について確認し、生活療法、SST等の技術に関する演習を行う。DVD視聴。            | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①④⑥     | 日下<br>清野 |
| 3  | 精神障害者のアセスメント技術                   | 精神障害者と9のコミュニケーション、アセスメントについて演習を行う。                                                 | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②⑦     | 日下<br>清野 |
| 4  | 生活支援技術演習（1）                      | スポーツ演習、レクリエーション演習を行う。ラジオ体操第1、第2、みんなの体操の実技を行う。                                      | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ③④⑥⑦    | 日下<br>清野 |
| 5  | 看護過程演習（1）                        | 看護過程について、具体的事例に基づいて演習を行う。                                                          | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②      | 日下<br>清野 |
| 6  | 生活支援技術演習（2）                      | スポーツ演習、レクリエーション演習を行う。ラジオ体操第1、第2、みんなの体操の実技を行う。                                      | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ③④⑥⑦    | 日下<br>清野 |
| 7  | 看護過程演習（2）                        | 看護過程について、具体的事例に基づいて演習を行う。                                                          | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②      | 日下<br>清野 |
| 8  | 生活支援技術演習（3）                      | スポーツ演習、レクリエーション演習を行う。ラジオ体操第1、第2、みんなの体操の実技を行う。                                      | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ③④⑥⑦    | 日下<br>清野 |
| 9  | 生活支援技術演習（4）                      | スポーツ演習、レクリエーション演習を行う。ラジオ体操第1、第2、みんなの体操の実技を行う。                                      | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ③④⑥⑦    | 日下<br>清野 |
| 10 | 精神科入院施設における基本技術（1）               | 看護師の立ち位置、観察の方法、依存性の高い患者への対応に関連する動作演習。ラジオ体操第1、第2、みんなの体操の実技を行う。                      | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②③④⑤⑥⑦ | 日下<br>清野 |
| 11 | 精神科入院施設における基本技術（2）               | CVPPPに基づく、患者への対応方法の演習。ラジオ体操第1、第2、みんなの体操の実技試験を行う。                                   | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②③⑤⑥⑦  | 日下<br>清野 |
| 12 | 精神科入院施設における基本技術（3）               | 患者の誘導方法の演習。拒薬患者などへの対処、多職種連携、カウンセリング、リエゾン看護の演習を含む。薬学部学生との連携演習を行う。                   | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②④⑤⑥⑦  | 日下<br>清野 |
| 13 | 精神科入院施設における基本技術（4）               | 患者の誘導方法の演習。拒薬患者などへの対処、多職種連携、カウンセリング、リエゾン看護の演習を含む。薬学部学生との連携演習を行う。                   | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②④⑤⑥⑦  | 日下<br>清野 |
| 14 | 精神科入院施設における基本技術（5）               | 行動制限に関する患者への対応方法の演習。抑制帯の安全性を確保する抑制演習を含む。抑制中の患者への与薬方法などの演習も行う。薬学部学生と共同する。           | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②③⑤⑥⑦  | 日下<br>清野 |
| 15 | 精神科入院施設における基本技術（6）               | 行動制限に関する患者への対応方法の演習。抑制帯の安全性を確保する抑制演習を含む。抑制中の患者への与薬方法などの演習も行う。薬学部学生と共同する。           | 演習   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | ①②③⑤⑥⑦  | 日下<br>清野 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                           | 著者・編者  | 出版社   |
|-----|------------------------------|--------|-------|
| 教科書 | 精神看護学 第3版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 | 田中 美恵子 | 医歯薬出版 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験    | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|---------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 80%  |      |            | 20%     |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            | ラジオ体操実技 |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー             | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス            |
|--------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 日下 修一  | 火曜日・金曜日 10：30～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（212） | kusaka@nupals.ac.jp |
| 清野 由美子 | 授業終了後               | 西新潟中央病院キャンパス（316） |                     |

|         |        |  |              |         |
|---------|--------|--|--------------|---------|
| 精神看護学実習 | 授業担当教員 |  | 日下 修一・清野 由美子 |         |
|         | 補助担当教員 |  |              |         |
|         | 区分     |  | 専門教育必修科目     |         |
|         | 年次・学期  |  | 3年次 後期       | 単位数 2単位 |

|              |                                                              |  |       |  |
|--------------|--------------------------------------------------------------|--|-------|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）                         |  | 保健師課程 |  |
|              | Ⅰ、◎Ⅱ、○Ⅲ、○Ⅳ、Ⅴ／A-1、A-2、A-3、A-4、A-5、A-6、D-2、D-5、E-1、E-2、F-1、F-2 |  |       |  |

【授業概要】

精神の健康問題により日常生活や対人関係に困難を抱える対象者とのコミュニケーションを通して、‘対象者－看護師関係’を形成 するための技法を学ぶ。さらに、援助関係を築きながら成育歴、生活歴を含め「身体的、精神的・霊的（スピリチュアル）、社会的」な視点からも対象者を捉える。対象者の問題点だけでなく、健康な部分に関わる看護ケアの実践多職種チームの中での看護師の役割、対象者の生活環境、精神科治療の実際と地域精神保健福祉について学ぶ。また、生活支援、就業支援事業所での実習を通し、精神障害者社会復帰支援について学ぶ。

【実務経験】

（日下）は精神科病院で8年の実務経験を持ち、看護部長としての実務経験もある。  
（清野）は精神科病院での1年の実務経験を持ち、一般科での実務経験が長い。

【到達目標】

1. 精神障害を持つ人を身体的・心理的・社会的な側面から全人的に理解する。
2. 精神障害を持つ人に対する看護支援を実践し、精神看護を理解する。
3. 病院や地域で暮らす精神障害を持つ人との関わり方を理解する。
4. 収集した情報からアセスメントを行い、必要な看護の方向性を理解する。
5. 精神科治療について理解し、多職種連携の必要性がわかる。
6. 精神保健医療福祉システムの現状を理解し、精神看護の役割を考察する。

【授業計画】

| 回 | 授業項目                     | 授業内容                                                                                                                                                                               | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                      | 到達目標番号 | 担当教員     |
|---|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|--------|----------|
| 1 | 病棟実習オリエンテーション            | 実習目標と実習方法の確認<br>病棟オリエンテーション・受け持ち患者の選定<br>精神科病棟の治療構造と人権擁護等について理解する                                                                                                                  | 実習   | 予習：実習目標と実習方法の確認<br>復習：実習記録                        | ①②③④⑤  | 日下<br>清野 |
| 2 | コミュニケーションを通じた患者理解・アセスメント | 患者との関係形成と情報収集、アセスメント<br>・受け持ち患者に合ったコミュニケーションの方法を考え、関係形成を図り、患者との距離の取り方を学ぶ。また、患者の情報収集の結果として、患者の全体像を捉え、アセスメントを行う。                                                                     | 実習   | 予習：精神障害者とのコミュニケーション及びオレム・アンダーウッド理論について<br>復習：実習記録 | ①②③④⑤  | 日下<br>清野 |
| 3 | 病棟カンファレンス                | 最終日に1週間の病棟実習を振り返る                                                                                                                                                                  | 実習   | 復習：実習記録                                           | ①②③④⑤  | 日下<br>清野 |
| 4 | 地域精神看護実習                 | 地域の社会復帰施設、デイケア施設での実習を通じて、地域で精神障害者が暮らすということがどういうことなのかを理解し、様々な職種の職員が関わり、医療と福祉をどうつなげているかを理解する。また、社会復帰を目指している利用者の方々とのコミュニケーションを通じて、精神障害を持たれている方々の理解を深め、精神障害者への支援のあり方、社会復帰の困難さについて理解する。 | 実習   | 予習：地域精神保健について<br>復習：実習記録                          | ①②③⑤⑥  | 日下<br>清野 |
| 5 | デイケア実習                   | デイケア実習<br>・精神科デイケアを利用しながら地域で暮らす人との関わりを通して、精神障害を持つ人の地域生活を理解する                                                                                                                       | 実習   | 予習：地域精神保健について<br>復習：実習記録                          | ①②③⑤⑥  | 日下<br>清野 |
| 6 | 社会復帰施設実習                 | 社会復帰施設実習<br>・社会復帰施設を利用する人との関わりを通して、精神疾患を持つ人の地域生活を理解する                                                                                                                              | 実習   | 予習：地域精神保健について<br>復習：実習記録                          | ①②③⑤⑥  | 日下<br>清野 |
| 7 | 地域精神看護カンファレンス            | 最終日に1週間の地域精神看護実習を振り返る                                                                                                                                                              | 実習   | 復習：実習記録                                           | ①②③⑤⑥  | 日下<br>清野 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                           | 著者・編者  | 出版社   |
|-----|------------------------------|--------|-------|
| 教科書 | 精神看護学 第3版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 | 田中 美恵子 | 医歯薬出版 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   |      |      |            |      |        |      | 100%                    |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      | 実習態度、理解度                |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー             | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス            |
|--------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 日下 修一  | 火曜日・金曜日 10：30～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（212） | kusaka@nupals.ac.jp |
| 清野 由美子 | 授業終了後               | 西新潟中央病院キャンパス（316） |                     |

|        |        |                               |     |     |
|--------|--------|-------------------------------|-----|-----|
| チーム医療論 | 授業担当教員 | 中垣 紀子・小山 歌子・戸田 肇・古地 順子・定方 美恵子 |     |     |
|        | 補助担当教員 |                               |     |     |
|        | 区分     | 専門教育必修科目                      |     |     |
|        | 年次・学期  | 3年次 前期                        | 単位数 | 1単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ◎ I、II、III、IV、V、/○A-1,2,3,4,5,6,7    |       |  |  |

【授業概要】

保健，医療，福祉を含めた統合的ケアサービスを提供するために、患者や障害を抱える人の問題に対してどのようにチームアプローチする必要 があるかを検討するための基礎的知識を学ぶ。

【実務経験】

看護職者としての実践、学生や看護職者へのチーム医療における指導の実務経験を有する。

（定方）病院で6年間の実務経験、40年間短大・大学での看護教育経験をもつとともに、この間医療機関で実習指導を行った経験を持つ。この経験を生かして、本科目「チーム医療論」の講義を行う。

【到達目標】

- 1.医療の流れ、チーム医療の必要性と意義を理解できる
- 2.我が国における医療提供システム及び他の専門職への理解を深める
- 3.医療の質向上・安全性の確保にチーム医療がどのような成果をもたらすかを理解できる
- 4.チームを構成する職能・その機能と役割について理解できる
- 5.チーム医療における倫理に関する基本的な知識を習得する
- 6.専門職間のコミュニケーションの重要性を理解できる

【授業計画】

| 回 | 授業項目                         | 授業内容                                                                                            | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                            | 到達目標番号  | 担当教員     |
|---|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------|---------|----------|
| 1 | オリエンテーション チーム医療とは何か          | 1. 科目概要の説明<br>2. チーム医療とは<br>3. チーム医療の必要性と意義<br>4. 日本のチーム医療の変遷                                   | 講義   | 予習：シラバスを読み、履修上の課題を明らかにしておく<br>復習：シラバスを読み、履修上の課題を明らかにしてお | 1・2     | 中垣       |
| 2 | チームメンバーの専門性と役割と仕事内容          | 1. 各専門職の紹介<br>2. チームにおける専門職の役割<br>3. チームにおける専門職の仕事内容<br>4. チーム医療における倫理                          | 講義   | 予習：チームメンバーの専門性について考えておく（45分）<br>復習：講義を振り返り、学びを深める（45分）  | 2・3・4・6 | 定方       |
| 3 | チーム医療における看護師の役割              | 1. チーム医療における看護師の仕事内容<br>2. チーム医療と専門性を高める看護師の役割                                                  | 講義   | 予習：チーム医療における看護師の役割について考えておく<br>復習：講義を振り返り、学びを深める        | 4・5・6   | 定方       |
| 4 | チーム医療の要素と6つの困難               | 1. 4つの志向<br>2. 4つの要素の相克関係<br>3. 専門性の追求と患者の要求<br>4. 専門性の相互理解<br>5. 患者と専門職の共通目標                   | 講義   | 予習：教科書の「チーム医療の要素と6つの困難」について読んでおく<br>復習：講義を振り返り、学びを深める   | 2・3     | 小山       |
| 5 | チーム医療を考え当事者の生活を支えるこれからの多職種協同 | 1. チーム医療のありうる形<br>2. パブリックヘルスの視点<br>3. 当事者・市民参画への注目<br>4. さまざまな患者会・当事者団体<br>5. 医療と教育の連携         | 講義   | 予習：これからのチーム医療の在り方を考えておく<br>復習：講義を振り返り、学びを深める            | 2・4・6   | 小山       |
| 6 | チーム医療の実際と課題                  | 1. 実際の事例からチーム医療を学習する<br>2. マンパワーを高める<br>3. チーム医療に患者が参加する<br>4. グループワーク：事例を基にチーム医療の4つの要素についてまとめる | 講義   | 予習：チーム医療について考えておく<br>復習：講義を振り返り、学びを深める                  | 2・4・5・6 | 古地       |
| 7 | チーム医療ワークショップの発表              | グループワークの結果の発表                                                                                   | 講義   | 予習：事例発表の用意を行う<br>復習：講義を振り返り、学びを深める                      | 2・4・5・6 | 古地       |
| 8 | メディカルスタッフとチーム医療のまとめ          | 1. 現代医療における医療従事者の関係性<br>2. まとめ                                                                  | 講義   | 予習：メディカルスタッフとチーム医療について考えておく<br>復習：講義を振り返り、学びを深める        | 2・4・5・6 | 戸田<br>中垣 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                              | 著者・編者  | 出版社       |
|-----|---------------------------------|--------|-----------|
| 教科書 | チーム医療とは何か（第2版）                  | 細田満和子著 | 日本看護協会出版会 |
| 参考書 | チーム医療を成功させる10か条ー現場に学ぶチームメンバーの心得 | 福原麻希著  | 中山書店      |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 80%  |      |            |      |        | 20%  |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー          | 研究室（部屋番号）             | Eメールアドレス              |
|--------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 中垣 紀子  | 水曜日13時－17時       | 西新潟中央病院キャンパス（321）     | nakagaki@nupals.ac.jp |
| 小山 歌子  | 月・火曜日12:10～13:00 | 西新潟中央病院キャンパス（317）     | koyama@nupals.ac.jp   |
| 戸田 肇   | 水曜日 12時30分～13時   | 西新潟中央病院キャンパス（213）     | toda@nupals.ac.jp     |
| 古地 順子  | 月～金曜日12：10～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（318）     | kochi@nupals.ac.jp    |
| 定方 美恵子 | 水曜日 12時30分～13時   | 西新潟中央病院キャンパス（108学部長室） | sadakata@nupals.ac.jp |

|       |        |  |          |         |
|-------|--------|--|----------|---------|
| 看護管理学 | 授業担当教員 |  | 日下 修一    |         |
|       | 補助担当教員 |  |          |         |
|       | 区分     |  | 専門教育必修科目 |         |
|       | 年次・学期  |  | 3年次 前期   | 単位数 2単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ◎Ⅰ、Ⅱ、◎Ⅳ、○Ⅴ／A-1、3、4、5、6、9、B-3、D-6     |       |  |  |

【授業概要】

看護管理は管理職のみが理解していれば良いというものではなく、スタッフナースも含め、全ての看護師が理解しておくべき看護の考え方である。また、看護を統合する学問でもある。人的資源管理、物品管理、財務管理、情報管理など看護管理に関する基礎的知識を学び、医療安全、暴力対策、リーダーシップの在り方及び看護部門についての経営的視点を養えるように、経営戦略も含めて、グループワークを行うなど、講義と演習を混ぜながら、看護管理の概要を理解でき、自らのキャリアプランニングができる視点を身に付ける。

【実務経験】

精神科病院で8年の実務経験を持ち、看護部長としての実務経験もある。

【到達目標】

- 1）看護管理の基本が理解でき、説明できる。
- 2）人的資源管理について理解でき、説明できる。
- 3）医療安全管理について説明することができる。
- 4）財務管理について説明できる。
- 5）情報管理について説明できる。
- 6）物品管理について説明できる。
- 7）看護の質評価について説明できる。
- 8）チーム医療、多職種連携について説明できる。
- 9）働きやすい職場環境、管理に関する看護倫理について説明できる。
- 10）医療政策及び法と看護の関係について説明できる。

【授業計画】

| 回  | 授業項目       | 授業内容                                                                          | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号 | 担当教員 |
|----|------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------|--------|------|
| 1  | 看護管理とは     | 看護管理の基本的な考え方、看護組織、看護単位などの基本事項について講義する。                                        | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（60分） | 1)     | 日下   |
| 2  | 人的資源管理1    | 人的資源管理について、人材育成、人材採用、クリニカル・ラダー、ワークライフバランス、キャリア・プランニング、特定行為研修、専門看護師などについて講義する。 | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（61分） | 2)     | 日下   |
| 3  | 人的資源管理2    | 必要人員配置の計算方法、勤務表、師長・主任の役割、スタッフへのサポート、個人目標管理等について講義する。                          | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（62分） | 2)     | 日下   |
| 4  | 人的資源管理3    | リーダーシップとメンバーシップに関して講義し、グループワークを用いて演習を行う。                                      | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（63分） | 2)     | 日下   |
| 5  | 安全管理1      | 安全管理、リスクマネジメント、インシデント・アクシデント報告について講義し、演習を行う。                                  | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（64分） | 3)     | 日下   |
| 6  | 安全管理2      | 医療訴訟、災害対策、避難訓練について講義し、演習を行う。                                                  | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（65分） | 3)     | 日下   |
| 7  | 安全管理3      | 暴力対策について講義すると共に、CVPPPなどの技法についてDVD等を活用して、理解すると共に、患者の安全を守るための考え方を講義し、演習を行う。     | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（66分） | 3)     | 日下   |
| 8  | 財務管理1      | 財務管理の概要と診療報酬について講義する。                                                         | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（67分） | 4)     | 日下   |
| 9  | 財務管理2      | 会計学の基本的知識、財務諸表、経営分析について講義する。                                                  | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（68分） | 4)     | 日下   |
| 10 | 情報管理       | 個人情報保護法を中心に、情報漏洩に関する法的問題など情報管理に関して講義する。                                       | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（69分） | 5)     | 日下   |
| 11 | 物品管理       | 物品管理の基本と病棟における物品管理、コスト管理、財務管理と物品管理について講義する。                                   | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（70分） | 6)     | 日下   |
| 12 | 看護の質評価     | 看護の質評価、医療評価について講義する。                                                          | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（71分） | 7)     | 日下   |
| 13 | チーム医療      | チーム医療に必要な共同連携、多職種連携について講義する。                                                  | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（72分） | 8)     | 日下   |
| 14 | 職場環境、看護倫理  | 働きやすい職場環境の在り方及び看護管理者が理解しておくべき、管理上の倫理問題、倫理的ジレンマについて講義する。                       | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（73分） | 9)     | 日下   |
| 15 | 医療政策及び法と管理 | 医療政策と看護の関係、法と看護の関係について講義する。                                                   | 講義   | 予習：テキストの予習（60分）<br>復習：授業ノートの復習（74分） | 10)    | 日下   |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名                                     | 著者・編者   | 出版社       |
|-----|----------------------------------------|---------|-----------|
| 教科書 | 新体系看護学全書 看護の統合と実践①『看護実践マネジメント/医療安全』第4版 | 小澤かおり編集 | メヂカルフレンド社 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他 |
|------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-----|
| 割合   | 100% |      |            |      |        |      |                         |     |
| 備考   |      |      |            |      |        |      |                         |     |

【課題に対するフィードバック方法】

レポートは試験前に返却する。

【連絡先】

| 氏名    | オフィスアワー             | 研究室（部屋番号）         | Eメールアドレス            |
|-------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 日下 修一 | 火曜日・金曜日 10：30～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（212） | kusaka@nupals.ac.jp |

【その他】

各授業は教科書主体で行う。

【成績評価基準】試験、レポート、技能試験の合計100点満点のうち60点以上を合格とする。

|         |        |  |                                                                          |         |
|---------|--------|--|--------------------------------------------------------------------------|---------|
| 看護研究の基礎 | 授業担当教員 |  | 酒井 禎子・戸田 肇・石綿 啓子・小山 歌子・野原 真理・古地 順子・平山 恵美子・成澤 幸子・中垣 紀子・定方 美恵子・日下 修一・齋藤 智子 |         |
|         | 補助担当教員 |  |                                                                          |         |
|         | 区分     |  | 専門教育必修科目                                                                 |         |
|         | 年次・学期  |  | 3年次 前期                                                                   | 単位数 1単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ◎IV、○Ⅰ、Ⅲ/A-1,2,3,7,8,9、G-1,2         |       |  |  |

【授業概要】

大学で看護研究することの意義を理解し、看護実践の中で生じた疑問や課題を科学的に探究するには方法論を学ぶ必要があることを知る。さらに研究課題を絞り込むための保健医療福祉に関する文献検討を通して批判的・論理的思考およびプレゼンテーション力、看護研究者としてのマナーを学び、各自が「看護研究演習Ⅰ」に臨む準備ができるようになる。

【実務経験】

看護職者としての実践、学生や看護職者への看護研究指導の実務経験を有する。

【到達目標】

1. 大学で看護研究することの意義、看護学の発展に果たす役割について説明できる。
2. 看護研究の遂行に伴う倫理的問題とその配慮について説明できる。
3. 看護研究で用いられる代表的な研究デザインの概要を知り、その特徴を説明できる。
4. 保健医療福祉に関する文献を批判的・論理的に検討できる。
5. クリティークした結果をプレゼンテーションでき、その内容について討議できる。
6. 看護学研究者としての基本的な態度が理解できる。
7. 「看護研究演習Ⅰ」に臨む準備ができる。

【授業計画】

| 回 | 授業項目                       | 授業内容                                                                                              | 授業方式  | 授業外学習（予習・復習）                        | 到達目標番号        | 担当教員                                                                 |
|---|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 看護研究の意義                    | ・科学とは何かを踏まえ、大学においてなぜ看護研究をするのかその意義を理解する。<br>・看護実践の中で生じた疑問や課題を科学的に探究するためには看護学独自の研究方法論を学ぶ必要があることを知る。 | 講義    | 予習：教科書を読む<br>復習：講義内容の確認             | 1             | 戸田                                                                   |
| 2 | 研究過程の概観<br>看護研究と倫理         | ・研究の過程を理解する。<br>・看護研究の遂行になぜ倫理的問題が発生し、どのような倫理的配慮が必要なのか理解する。                                        | 講義    | 予習：教科書を読む<br>復習：講義内容の確認             | 1.2.6.        | 戸田<br>酒井                                                             |
| 3 | 研究方法論①<br>研究デザイン：量的研究・文献研究 | ・量的研究・文献研究の概要について理解する。                                                                            | 講義    | 予習：教科書を読む<br>復習：講義内容の確認             | 1.2.3.6.      | 日下                                                                   |
| 4 | 研究方法論②<br>研究デザイン：質的研究      | ・質的研究の概要について理解する。                                                                                 | 講義    | 予習：教科書を読む<br>復習：講義内容の確認             | 1.2.3.6.      | 戸田<br>酒井                                                             |
| 5 | 研究方法論③<br>研究デザイン：実験的研究     | ・実験的研究の概要について理解する。                                                                                | 講義    | 予習：教科書を読む<br>復習：講義内容の確認             | 1.2.3.6.      | 石綿                                                                   |
| 6 | 保健医療福祉における文献活用             | ・研究課題を絞り込むための文献検索、批判的読み方（クリティーク）について概要を理解する。                                                      | 講義    | 予習：教科書を読む<br>復習：講義内容の確認             | 1.2.3.4.6.    | 戸田<br>酒井<br>図書館<br>司書                                                |
| 7 | 文献クリティーク①<br>批判的読み方の実際     | ・論文を精読し、担当教員の指導を受けながらグループ単位でクリティークを行う。                                                            | 講義・演習 | 予習：論文を読む<br>復習：演習内容の確認              | 1.2.3.4.6.    | 酒井<br>戸田<br>石綿<br>小山<br>野原<br>古地<br>平山<br>成澤<br>中垣<br>定方<br>日下<br>齋藤 |
| 8 | 文献クリティーク②<br>看護研究演習に臨む準備   | ・クリティークの成果をプレゼンテーションし、質疑応答を通して看護研究者としてのマナーを学び、各自看護研究の方向性を想い描き、看護研究演習Ⅰに臨む準備をする。                    | 講義・演習 | 予習：クリティーク内容の確認<br>復習：プレゼンテーション内容の確認 | 1.2.3.4.5.6.7 | 酒井<br>戸田<br>石綿<br>小山<br>野原<br>古地<br>平山<br>成澤<br>中垣<br>定方<br>日下<br>齋藤 |

【教科書・参考書】

| 種別  | 書名          | 著者・編者     | 出版社       |
|-----|-------------|-----------|-----------|
| 教科書 | 看護における研究第2版 | 南裕子、野嶋在由美 | 日本看護協会出版会 |

【成績評価方法・基準】

| 評価方法 | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート   | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他                                 |
|------|------|------|------------|------|--------|--------|-------------------------|-------------------------------------|
| 割合   |      |      |            |      |        | 50%    |                         | 50%                                 |
| 備考   |      |      |            |      |        | クリティーク |                         | リフレクションペーパー<br>クリティーク発表内容<br>質疑応答内容 |

【課題に対するフィードバック方法】

リフレクションペーパー、クリティークについては、疑問が解消され、学修の方向性が見出せるように授業の中でフィードバックを行う。

【連絡先】

| 氏名     | オフィスアワー             | 研究室（部屋番号）                       | Eメールアドレス                   |
|--------|---------------------|---------------------------------|----------------------------|
| 酒井 禎子  | 平日:17:00～18:00      | 西新潟中央病院キャンパス（315）               | yoshikosakai@nupals.ac.jp  |
| 戸田 肇   | 月曜日 18:00～19:00     | 西新潟中央病院キャンパス（213）               | toda@nupals.ac.jp          |
| 石綿 啓子  | 講義終了後               | 新津キャンパス（J205）、西新潟中央病院キャンパス（322） | ishiwata@nupals.ac.jp      |
| 小山 歌子  | 月・火曜日12:10～13:00    | 西新潟中央病院キャンパス（317）               | koyama@nupals.ac.jp        |
| 野原 真理  | 火曜日13：00～17：00      | 西新潟中央病院キャンパス（314）               | nohara@nupals.ac.jp        |
| 古地 順子  | 月～金曜日12：10～13：00    | 西新潟中央病院キャンパス（318）               | kochi@nupals.ac.jp         |
| 平山 恵美子 | 水曜日13:00～17:00      | 西新潟中央病院キャンパス（319）               | emikohirayama@nupals.ac.jp |
| 成澤 幸子  | 平日：17:00～19:00      | 西新潟中央病院キャンパス（311）               | narisawa@nupals.ac.jp      |
| 中垣 紀子  | 水曜日13時～17時          | 西新潟中央病院キャンパス（321）               | nakagaki@nupals.ac.jp      |
| 定方 美恵子 | 水・木曜日 12時10分～13時    | 西新潟中央病院キャンパス（108学部長室）           | sadakata@nupals.ac.jp      |
| 日下 修一  | 火曜日・金曜日 10：30～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（212）               | kusaka@nupals.ac.jp        |
| 齋藤 智子  | 火・水曜日 12：10～16:30   | 西新潟中央病院キャンパス（313）               | tomokosaito@nupals.ac.jp   |

【その他】

授業は、講義プリント、論文等を用いて行う。問題意識を持ちながら授業に積極的に参加すること。【成績評価基準】リフレクションペーパー、クリティックレポート（ワークシート）、クリティック発表内容、質疑応答内容（100点満点）の60点以上を合格とする。詳細は授業内で提示する。

|         |        |                                                                                                    |     |     |
|---------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 看護研究演習Ⅰ | 授業担当教員 | 野原 真理・酒井 禎子・戸田 肇・石綿 啓子・小山 歌子・古地 順子・平山 恵美子・成澤 幸子・中垣 紀子・定方 美恵子・日下 修一・川崎 久子・齋藤 智子・坪川 麻樹子・明神 一浩・清野 由美子 |     |     |
|         | 補助担当教員 |                                                                                                    |     |     |
|         | 区分     | 専門教育必修科目                                                                                           |     |     |
|         | 年次・学期  | 3年次 後期                                                                                             | 単位数 | 1単位 |

|              |                                      |       |  |  |
|--------------|--------------------------------------|-------|--|--|
| 看護学部<br>看護学科 | DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） | 保健師課程 |  |  |
|              | ◎Ⅳ、○Ⅰ、Ⅲ/A-1,2,3,7,8,9、G-1,2          |       |  |  |

【授業概要】  
「看護研究の基礎」での学習を基盤とし、看護学臨地実習の現場で起こっている事象に問題意識を持ち、大づかみに描いた研究課題に関連した看護学領域の担当教員の指導を受ける。研究課題に関する文献のクリティークを通して研究課題を絞り込んで研究目的を明確にし、どのような研究方法論を用いて、どのような対象に、倫理的配慮をしながらどのような方法でデータ収集し、分析するのか研究計画書を作成する。この取り組みを通して「看護研究演習Ⅱ」へとつなげていく。

【実務経験】  
看護職者としての実践、学生や看護職者への看護研究指導の実務経験を有する。

- 【到達目標】
1. 看護学臨地実習の経験をもとに研究課題を設定することができる。
  2. 研究課題に関する文献を検索し、先行研究を批判的に読むことができる。
  3. 研究課題と研究目的を明確にすることができる。
  4. 研究期間に仕上げる事が可能な研究計画を立案し、研究計画書を作成することができる。
  5. 分析方法が使えるように準備することができる。

| 【授業計画】 |                     |                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                                                                                      |            |                                                                                              |
|--------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 回      | 授業項目                | 授業内容                                                                                                                                                                                                                                                                | 授業方式 | 授業外学習（予習・復習）                                                                         | 到達目標番号     | 担当教員                                                                                         |
| 1      | オリエンテーション事前準備       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入：ガイダンス（7月〇日）</li> <li>①研究の目的、到達目標、展開方法、評価基準等</li> <li>②看護学領域における教員の中心テーマの紹介</li> <li>③エントリーシートの提出方法</li> <li>・エントリーシートの提出（8月〇日まで）</li> </ul> 取り組みたいテーマ（研究課題）/関心のある看護学領域/研究内容/文献リスト（任意）を作成する<br>・研究指導看護学領域および担当教員の決定（9月〇日） |      | 予習：ガイダンスに参加する<br>復習：エントリーシートを作成する                                                    |            | 野原<br>酒井<br>戸田<br>石綿<br>小山<br>古地<br>平山<br>成澤<br>中垣<br>定方<br>日下<br>川崎<br>齋藤<br>坪川<br>明神<br>清野 |
| 2～7    | 研究課題の設定<br>研究目的の設定  | 担当教員の指導を受けながら、研究テーマの設定に向けて開始する。<br>・看護学臨地実習を想起し、事象についてどのような問題意識を持ったのか、研究課題を大づかみに描き、言語化する。<br>・探究への問いをかけ（リサーチクエスション）、研究課題に関する文献を検索し、先行研究を批判的に読む（クリティーク）。<br>・研究課題を絞り込み、研究目的を明確にする。                                                                                   | 演習   | 予習：自分の研究課題に沿って文献等を調べる。クリティークー内容を作成する。<br>復習：担当教員とのディスカッション内容を整理する。<br>研究課題・研究目的を設定する | 1.2.3.     | 野原<br>酒井<br>戸田<br>石綿<br>小山<br>古地<br>平山<br>成澤<br>中垣<br>定方<br>日下<br>川崎<br>齋藤<br>坪川<br>明神<br>清野 |
| 8～15   | 研究計画の立案<br>研究計画書の作成 | ○研究方法論（研究デザイン）の選定<br>・どのような研究方法論を用いて、どのような対象に、どの期間で実施するのか検討する。<br>・研究データをどのような方法で収集するのか検討する。<br>・研究対象者にどのような倫理的配慮が必要か検討する。<br>○研究データ分析への準備<br>・研究方法論（研究デザイン）に沿った分析方法が使えるように訓練する。                                                                                    | 演習   | 予習：研究計画を立案する。研究計画書を作成する。<br>復習：担当教員とのディスカッション内容を整理する。<br>研究計画を立案する。研究計画書を作成する。       | 1.2.3.4.5. | 野原<br>酒井<br>戸田<br>石綿<br>小山<br>古地<br>平山<br>成澤<br>中垣<br>定方<br>日下<br>川崎<br>齋藤<br>坪川<br>明神<br>清野 |

| 【教科書・参考書】 |             |       |           |
|-----------|-------------|-------|-----------|
| 種別        | 書名          | 著者・編者 | 出版社       |
| 教科書       | 看護における研究第2版 |       | 日本看護協会出版会 |

| 【成績評価方法・基準】 |      |      |            |      |        |      |                         |       |
|-------------|------|------|------------|------|--------|------|-------------------------|-------|
| 評価方法        | 定期試験 | 中間試験 | シミュレーション試験 | 技能試験 | その他の試験 | レポート | 観察記録<br>授業態度<br>授業への貢献度 | その他   |
| 割合          |      |      |            |      |        |      |                         | 100%  |
| 備考          |      |      |            |      |        |      |                         | 研究計画書 |

【課題に対するフィードバック方法】  
グループ指導および個別指導により、疑問が解消され、学修の方向性が見出せるようにフィードバックを行う。

【連絡先】

| 氏名     | オフィシアワー             | 研究室（部屋番号）                       | Eメールアドレス                     |
|--------|---------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 野原 真理  | 火曜日13：00～17：00      | 西新潟中央病院キャンパス（314）               | nohara@nupals.ac.jp          |
| 酒井 禎子  | 平日:17:00～18:00      | 西新潟中央病院キャンパス（315）               | yoshikosakai@nupals.ac.jp    |
| 戸田 肇   | 金曜日 12時30分～13時      | 西新潟中央病院キャンパス（213）               | toda@nupals.ac.jp            |
| 石綿 啓子  | 講義終了後               | 新津キャンパス（J205）、西新潟中央病院キャンパス（322） | ishiwata@nupals.ac.jp        |
| 小山 歌子  | 月・火曜日12:10～13:00    | 西新潟中央病院キャンパス（317）               | koyama@nupals.ac.jp          |
| 古地 順子  | 月～金曜日12：10～13：00    | 西新潟中央病院キャンパス（318）               | kochi@nupals.ac.jp           |
| 平山 恵美子 | 水曜日13:00～17:00      | 西新潟中央病院キャンパス（319）               | emikohirayama@nupals.ac.jp   |
| 成澤 幸子  | 平日：17:00～19:00      | 西新潟中央病院キャンパス（311）               | narisawa@nupals.ac.jp        |
| 中垣 紀子  | 水曜日13時～17時          | 西新潟中央病院キャンパス（321）               | nakagaki@nupals.ac.jp        |
| 定方 美恵子 | 水・木曜日 12時10分～13時    | 西新潟中央病院キャンパス（108学部長室）           | sadakata@nupals.ac.jp        |
| 日下 修一  | 火曜日・金曜日 10：30～13：00 | 西新潟中央病院キャンパス（212）               | kusaka@nupals.ac.jp          |
| 川崎 久子  | 水曜日 16：00～17：00     | 西新潟中央病院キャンパス（323）               | hisako-kawasaki@nupals.ac.jp |
| 齋藤 智子  | 火・水曜日 12：10～16:30   | 西新潟中央病院キャンパス（313）               | tomokosaito@nupals.ac.jp     |
| 坪川 麻樹子 | 水曜日13:00～17:00      | 西新潟中央病院キャンパス（320）               | tsubokawa@nupals.ac.jp       |
| 明神 一浩  | 水曜日13：00～17：00      | 西新潟中央病院キャンパス（312）               | myoujin@nupals.ac.jp         |
| 清野 由美子 | 授業終了後               | 西新潟中央病院キャンパス（316）               |                              |

【その他】

【成績評価基準】 研究計画書（100点）のうち60点以上を合格とする